資 料

1. 調査団員氏名、所属

本調査団員氏名及び所属は下表に示す通りである。

(1)　フェーズ 1 現地調査時

No.	氏名	担当	所属
1	萩原　知	総括	独立行政法人国際協力機構 無償資金協力部　業務第三グループ グループ長
2	井上　陽一	計画管理	独立行政法人国際協力機構 無償資金協力部業務第三グループ 水資源･環境チーム
3	田口　雅行	業務主任／給水計画	株式会社協和コンサルタンツ
4	小肩　雅之	地下水開発／機材計画	株式会社協和コンサルタンツ
5	大谷　重雄	給水施設設計･計画／電気･機械設備計画	株式会社協和コンサルタンツ
6	宇佐美　栄邦	業務調整	株式会社インターテクノコンサルタント
7	馬場　通	通訳	株式会社テクノスタッフ

(2)　フェーズ 2 現地調査時

No.	氏名	担当	所属
1	木野本　浩之	総括	独立行政法人国際協力機構 無償資金協力部　業務第三グループ 水資源･環境チーム、チーム長
2	井上　陽一	計画管理	独立行政法人国際協力機構 無償資金協力部業務第三グループ 水資源･環境チーム
3	田口　雅行	業務主任／給水計画	株式会社協和コンサルタンツ
4	小肩　雅之	地下水開発／機材計画	株式会社協和コンサルタンツ
5	大谷　重雄	給水施設設計･計画／電気･機械設備計画	株式会社協和コンサルタンツ
6	町田　賢一	運営維持管理計画／社会状況調査	株式会社かいはつマネージメントコンサルティング
7	村上　武士	施工計画／機材調達／積算	株式会社協和コンサルタンツ
8	宇佐美　栄邦	業務調整	株式会社インターテクノコンサルタント
9	馬場　通	通訳	株式会社テクノスタッフ

基本設計概要説明時

No.	氏名	担当	所属
1	萩原　知	総括	独立行政法人国際協力機構 無償資金協力部　業務第三グループ
2	井上　啓	計画管理	独立行政法人国際協力機構 無償資金協力部業務第三グループ 水資源･環境チーム
3	田口　雅行	業務主任／給水計画	株式会社協和コンサルタンツ
4	大谷　重雄	給水施設設計･計画／電気･機械設備計画	株式会社協和コンサルタンツ
5	馬場　通	通訳	株式会社テクノスタッフ

2. 調査日程

(1) フェーズ1現地調査時

日順	月日	曜日	総括（JICA）	計画管理(JICA)	業務主任／給水計画	通訳	地下水開発計画／機材計画	給水施設設計・計画/電気・機械設備計画	業務調整
			萩原　知	井上　陽一	田口　雅行	馬場　通	小肩　雅之	大谷　重雄	宇佐美　秀邦
1	4月17日	火	成田13:30(OZ101)→ソウル15:55、ソウル17:20(OZ573)→タシケント21:10						
2	4月18日	水	JICAウズベキスタン事務所訪問、タシケント13:15(HY1153)→テルメズ15:15、テルメズ→ドゥシャンベ(陸路)						
3	4月19日	木	JICAタジキスタン事務所打合せ、在タジキスタン日本国大使館表敬、大統領府表敬、非常事態委員会／給水センター表敬・インセプションレポート説明						
4	4月20日	金	ミニッツ協議、第1副首相表敬				ミニッツ協議、現地調査準備		
5	4月21日	土	ドゥシャンベ→モスクワ町、ハマドニ地区評議会議長表敬、現地踏査（ハマドニ地区）						
6	4月22日	日	モスクワ町→ドゥシャンベ、ミニッツ準備				村落部(ジャモアット)給水施設調査		
7	4月23日	月	給水センターとミニッツ協議				村落部給水施設調査、再委託業務	既存給水施設調査	業務調整
8	4月24日	火	関係省庁事務官を含めミニッツ協議						
9	4月25日	水	ミニッツ協議、日本国大使館報告				村落部給水施設調査、再委託業務		
10	4月26日	木	ミニッツ署名、JICAタジキスタン事務所報告						
11	4月27日	金	ドゥシャンベ→テルメズ(陸路)、テルメズ11:35(HY1152)→タシケント13:20、JICAウズベキスタン事務所報告、タシケント22:30(OZ574)→ソウル08:50+1		既存給水施設調査 ドゥシャンベ→モスクワ町		井戸カメラ調査	既存給水施設調査	
12	4月28日	土	ソウル11:30(OZ104)→成田13:40着						
13	4月29日	日			団内打合せ、資料整理			団内打合せ、資料整理	
14	4月30日	月			既存給水施設調査			既存給水施設調査	業務調整
15	5月1日	火							
16	5月2日	水							
17	5月3日	木							
18	5月4日	金							
19	5月5日	土							
20	5月6日	日			団内打合せ、資料整理			団内打合せ、資料整理	
21	5月7日	月			既存給水施設調査			既存給水施設調査	モスクワ町→ドゥシャンベ
22	5月8日	火			モスクワ町→ドゥシャンベ JICA報告、給水センター協議、現地業者打合せ、水理地質図調査 ドゥシャンベ→モスクワ町			モスクワ町→ドゥシャンベ	業務調整
23	5月9日	水						関連施設視察及び資料収集	
24	5月10日	木						ドゥシャンベ→テルメズ(HY1152)→タシケント21:05(HY527)→	
25	5月11日	金						→成田	
26	5月12日	土							
27	5月13日	日			団内打合せ、資料整理				ドゥシャンベ→テルメズ(HY1152)→タシケント
28	5月14日	月			既存給水施設調査				業務調整
29	5月15日	火			モスクワ町→ドゥシャンベ JICA事務所報告、水理資質図調査、現地業者協議 ドゥシャンベ→モスクワ町				
30	5月16日	水							タシケント→22:30　(OZ574) ソウル→成田
31	5月17日	木			既存給水施設調査				
32	5月18日	金							
33	5月19日	土							
34	5月20日	日			団内打合せ、資料整理				
35	5月21日	月			ハマドニ地区行政府との協議、補足調査				
36	5月22日	火							
37	5月23日	水			モスクワ町→ドゥシャンベ				
38	5月24日	木			調査結果の整理、給水センターとの協議・調整 現地業者関連調査				
39	5月25日	金							
40	5月26日	土							
41	5月27日	日			団内打合せ、資料整理				
42	5月28日	月			非常事態委員会、給水センター協議・報告、JICAタジキスタン事務所、日本国大使館報告				
43	5月29日	火			ドゥシャンベ→タシケント（陸路にて移動）				
44	5月30日	水			JICAウズベキスタン事務所報告、タシケント15:20(HY501)→北京23:40				
45	5月31日	木			北京→成田				

(2) フェーズ2現地調査時

日順	月日	曜日	総括（JICA）	計画管理(JICA)	業務主任／給水計画	通訳	地下水開発計画／機材計画	給水施設設計・計画/電気・機械設備計画	運営維持管理計画／社会状況調査	施工計画／調達計画／積算	業務調整
			木野本　浩之	井上　陽一	田口　雅行	馬場　通	小肩　雅之	大谷　重雄	町田　賢一	村上　武士	宇佐美　栄邦
	6月19日	火								成田13:30(OZ101)→ソウル15:55、ソウル17:20(OZ573)→タシケント21:10	
	6月20日	水								タシケント13:15(HY1153)→テルメズ15:15、テルメズ→ドゥシャンベ	
	6月21日	木								見積依頼、資機材調査	再委託準備
	6月22日	金									
	6月23日	土									
	6月24日	日								団内打合せ、資料整理	
	6月25日	月								見積依頼、資機材調査	再委託準備
1	6月26日	火	成田13:30(OZ101)→ソウル15:55、ソウル17:20(OZ573)→タシケント21:10								
2	6月27日	水	JICAウズベキスタン事務所訪問、タシケント13:15(HY1153)→テルメズ15:15、テルメズ→ドゥシャンベ（陸路）								
3	6月28日	木	JICAタジキスタン事務所打合せ、在タジキスタン日本国大使館表敬、大統領府表敬、非常事態委員会／給水センター表敬・インセプションレポート説明								
4	6月29日	金	(AM) 非常事態委員会、財務省、投資財産委員会、給水センターとの協議、（PM) 非常事態委員会及び給水センターとの協議				現地乗込み準備、現地再委託業者との調整等				
5	6月30日	土	ミニッツ案作成、資料整理				ドゥシャンベ→モスクワ、現地踏査				
6	7月1日	日	ドゥシャンベ→ハマドニ地区、現場視察、ハマドニ地区→ドゥシャンベ				再委託指示（揚水、水質）	再委託指示（測量、地盤、施設診断）	サイト調査	サイト調査	業務調整
7	7月2日	月	(AM) 非常事態委員会、財務省、投資財産委員会、給水センターとのミニッツ協議、（PM)住宅サービス公社との協議				再委託業務管理	再委託業務管理	再委託指示（社会・水利用状況）	サイト調査	業務調整
8	7月3日	火	給水センター、ハマドニ上下水道公社とミニッツ協議						社会条件調査再委託管理		
9	7月4日	水	(AM)給水センター、ハマドニ上下水道公社とミニッツ協議 (PM)動力・産業省との協議								
10	7月5日	木	ミニッツ署名、JICAタジキスタン事務所報告、日本国大使館報告、							モスクワ→ドゥシャンベ	
11	7月6日	金	ドゥシャンベ→テルメズ（陸路）、テルメズ11:35(HY1152)→タシケント13:20、JICAウズベク事務所報告、タシケント22:30(OZ574)→ソウル08:50+1		給水センター協議、保健省国家衛生疫病監視センター協議		サイト調査	既存施設の調査	維持管理調査	見積依頼、資機材調査	
12	7月7日	土	ソウル11:30(OZ104)→成田13:40着		ドゥシャンベ→ハマドニ地区移動						
13	7月8日	日			団内打合せ、資料整理						
14	7月9日	月			既存施設の調査	モスクワ→ドゥシャンベ	機材計画、維持管理調査	既存施設調査	維持管理調査	見積、資料等受取	業務調整
15	7月10日	火			ステーク・ホルダー・ミーティング			モスクワ→ドゥシャンベ	ステーク・ホルダー・ミーティング実施		
16	7月11日	水						施設関連調査			
17	7月12日	木			大野書記官、JICA織田氏、山中専門家現場視察同行	ドゥシャンベ→モスクワ		ドゥシャンベ→モスクワ			
18	7月13日	金			維持管理、持続性調査	サイト調査		既存施設調査	補足調査		モスクワ→ドゥシャンベ
19	7月14日	土								ドゥシャンベ→テルメズ、テルメズ12:05(HY1152)→タシケント13:50	
20	7月15日	日			団内打合せ、資料整理						
21	7月16日	月			モスクワ→ドゥシャンベ移動	再委託業務監理補足調査	再委託業務管理補足調査		モスクワ→ドゥシャンベ移動、補足調査	資機材調達調査	業務調整
22	7月17日	火			維持管理、持続性調査、関連機関との協議、補足調査				ドゥシャンベ→パンジャケント移動、維持管理関連補足調査 パンジャケント→ドゥシャンベ移動	補足調査、タシケント22:30(OZ574)→ソウル08:50+1	
23	7月18日	水								ソウル11:30(OZ104)→成田13:40	
24	7月19日	木				モスクワ→ドゥシャンベ			ドゥシャンベ→テルメズ11:35(HY1152)→タシケント21:05(OZ574)→		
25	7月20日	金			非常事態賞ワークショップ視察、井戸掘削機材の機種選定に関する協議（南部調査隊）				→成田8:55		
26	7月21日	土			関連補足調査、資料整理	再委託業務成果品受取、まとめ					
27	7月22日	日			団内打合せ、資料整理						
28	7月23日	月			JICAタジキスタン事務所報告、日本国大使館報告						
29	7月24日	火			ドゥシャンベ→テルメズ(陸路)、テルメズ11:35(HY1152)→タシケント13:20、JICAウズベキスタン事務所報告、タシケント22:30(OZ574)→ソウル08:50+1						
30	7月25日	水			ソウル11:30(OZ104)→成田13:40						
31											
38											
39	8月3日	金						ドゥシャンベ→テルメズ11:35(HY1152)→タシケント21:05(OZ574)→			
40	8月4日	土						→成田8:55			

(3) 基本設計概要説明時

日順	月日	曜日	総括（JICA）	計画管理	業務主任／給水計画	給水施設設計・計画/電気・機械設備計画	通訳
			萩原 知	井上　啓	田口　雅行	大谷　重雄	馬場　通
1	10月30日	火	成田13:30(OZ101)→ソウル15:55、ソウル17:20(OZ573)→タシケント21:10				
2	10月31日	水	JICAウズベキスタン事務所訪問、タシケント13:15(HY1153)→テルメズ15:15、テルメズ→ドゥシャンベ(陸路)				
3	11月1日	木	JICAタジキスタン事務所打合せ、在タジキスタン日本国大使館表敬、大統領府表敬、非常事態委員会／給水センター　基本設計概要書説明				
4	11月2日	金	非常事態委員会、給水センターへの基本設計概要書説明				
5	11月3日	土	ミニッツ案作成				
6	11月4日	日	ドゥシャンベ→モスクワ町（陸路）、ハマドニ地方政府との協議、井戸掘削機 車輌基地建設場所確認、モスクワ町→ドゥシャンベ（陸路）				
7	11月5日	月	(AM) 非常事態委員会、財務省、投資財産委員会、給水センター、ハマドニ地区上下水道公社とのミニッツ協議、(PM)給水センター、ハマドニ地区上下水道公社との協議				
8	11月6日	火	給水センター、ハマドニ地区上下水道公社との協議				
9	11月7日	水	AM) 非常事態委員会、財務省、投資財産委員会、給水センター、ハマドニ地区上下水道公社とのミニッツ協議、(PM)給水センターとの協議				
10	11月8日	木	タジク国外務省と協議、ミニッツ署名、JICAタジキスタン事務所報告、日本国大使館報告				
11	11月9日	金	ドゥシャンベ→テルメズ(陸路)、テルメズ11:35(HY1152)→タシケント13:20、JICAウズベキスタン事務所報告、タシケント22:30(OZ574)→ソウル08:50+1				
12	11月10日	土	ソウル11:30(OZ104)→成田13:40着				

3. 面会者リスト

大統領府		
非常事態及び環境部	部長	Mr. Inoyatov Hidoyatsho
同上	副部長	Mr. Kurbanbekov Djumabek
建設部	部長	Mr. Nasirov Israil Babaevich
同上	主任技師	Mr. Khotamov Bakho H.
農業部	部長	Mr. Safarov Djumahon
非常事態委員会	議長	Mr. Zokirov Mahmadtohir
国際部	副議長	Mr. Nazarov Nularishos
同上	部長	Mr. Addurasulov Regmat
同上	担当	Mr. Muzafarov Sukhrob
同上	事務担当	Mr. Alijon Abdulhamidov
財務省予算局投資課	ﾁｰﾌｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ	Mr. Amirov Fahriddin
海外投資･財産管理委員会	主任	Mr. Aliev Bahrom
		Mr. Rakhmatulieva Khursheda
給水センター	所長	Mr. Safarov Zafar
ハマドニ地区行政府	議長	Mr. Gulov Safarali
	副議長	Mr. Kataev Addujabor
	管理部長	Mr. Ibrogimov Tagaimurod
ハマドニ上下水道公社	社長	Mr. Safarov Azizmad Nazirovich
動力･産業省	次官	Mr. Pylact Mykhiddinov
住宅都市サービス公社	総裁	Mr. Bodokalonov Rahmat
UNICEF	Project Officer	Mr. Ikram Davronov
在タジキスタン日本国大使館	臨時代理大使	高橋 博史
	二等書記官	大野 浩司
	二等書記官	近藤 俊介
	専門調査員	島田 志津夫
JICA タジキスタン駐在員事務所	駐在員	長谷川 謙
	企画調査員	織田 知則
	所員	Mr. Serikov Alexander
JICA ウズベキスタン事務所	所長	西宮 宜昭
	所員	山崎 潤

MINUTES OF DISCUSSIONS
on
The Basic Design Study (Phase Ⅰ)
on
The Project for the Provision of Drinking Water for the Population of Mir Saiid Alii Hamadoni District of Khatlon Region in the Republic of Tajikistan

In response to the request from the Government of the Republic of Tajikistan (hereinafter referred to as "Tajikistan"), the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for the Provision of Drinking Water for the Population of Mir Saiid Alii Khamadoni District of Khatlon Region (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA sent to Tajikistan the Basic Design Study Team (Phase Ⅰ) (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Mr.Satoru Hagiwara, Group Director, Project Management Group Ⅲ, Grant Aid Management Dept., JICA, and is scheduled to stay in the country from April 19 to May 29, 2007.

The Team held discussions with the officials concerned of the Government of Tajikistan and conducted a field survey at the study area.

In the course of discussions and field survey, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

This Minutes of Discussions is signed in both English and Russian in condition that the English version is treated as an official one.

Dushanbe, April 26, 2007

萩原 知

Mr. Satoru Hagiwara
Leader
Basic Design Study Team
Japan International Cooperation Agency (JICA)

Mr. Zokirov Mahmadtohir
Chairman,
Committee of Emergency Situations and Civil Defence under the Government of the Republic of Tajikistan, the Republic of Tajikistan

Mr. Zafar Safarov
Director
The State Agency "Center for management of the project on supplying of potable water to population of Mir Saiid Alii Hamadoni District", the Republic of Tajikistan

ATTACHMENT

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to provide the population with clean water and secure their health through improving drinking water supply facilities in the project area.

2. Project sites

The site of the Project is Mir Saiid Alii Hamadoni District (hereinafter referred to as "Hamadoni District") in Khatlon region.

3. Responsible and Implementing Agency

3-1) The Responsible Agency is the Committee of Emergency Situations and Civil Defense under the Government of the Republic of Tajikistan (hereinafter referred to as "CoES").

3-2) The Implementing Agency is the State Agency "Center for management of the project on supplying of potable water to population of Mir Saiid Alii Hamadoni District" (hereinafter referred to as "the Center").

3-3) The Tajikistan side explained that the above-mentioned Responsible and Implementing Agencies were approved by the regulation of the Government No.414 issued on 31 October 2005.

3-4) The Tajikistan side assigned the Coordination Committee for the Project by the regulation of the Government No.38141 (15-3) issued on 5 April 2007 for smooth implementation of the Project. The Coordination Committee consists of fifteen related Governmental Agencies.

This Minutes of Discussions has been approved by the endorsements of Directors of the following Executive Presidential Office Departments of the Republic of Tajikistan: Ecology and Emergency Situation Department, Economic Reforms and Investments Department, Construction and Architecture Department.

The Investment Project Management Department of the Division of the State Budget of the Ministry of Finance of the Republic of Tajikistan, and the Investment Management Division of the State Committee on Investments and state property management of the Republic of Tajikistan . signed this attachment as the token of approval.

Both sides have agreed that the Japanese Side will be able to continue the further study on the Basic Project Design only after the endorsement this Protocol with the appropriate Departments of the Executive Presidential Office of the Republic of Tajikistan.

The Tajikistan side explained that relations between above mentioned organizations as described in Annex-1.

4. Items requested by the Government of Tajikistan

After discussions with the Team, the following items were finally requested by the Tajikistan side.

(1) Rehabilitation of existing water supply facilities in Moskovski Center.

(2) Rehabilitation of existing water supply facilities in some villages of seven Jamoats

(3) Construction of new water supply facilities in some villages of seven Jamoats

(4) Procurement of drilling rig and related equipment

a) Truck mounted drilling rig (drilling capacity:100m)	1 unit
b) Truck mounted high pressure air compressor	1 unit
c) Spare parts	1 set
d) Drilling tools and accessories	1 set
e) Geophysical survey equipment	1 set
f) Truck with water tank	1 unit
g) Cargo truck with crane (carrying capacity: more than 12t)	1 unit

(5) On the Job Training (OJT) for transfer of drilling technique

JICA will assess the appropriateness of the request through the Study.

5. Japan's Grant Aid Scheme

5-1) The Tajikistan side understands the Japan's Grant Aid Scheme explained by the Team, as described in Annex-3.

5-2) The Tajikistan side will take the necessary measures, as described in Annex-4, for smooth implementation of the Project, as a condition for the Japanese Grant Aid to be implemented.

6. Schedule of the Study

6-1) The consultant members of the team will proceed to the Study in Tajikistan until May 29, 2007.

6-2) JICA will analyze the results of the Study in Japan and dispatch a second mission in order to proceed to further study in the end of June 2007.

6-3) JICA will prepare the draft report in Russian and dispatch a mission in order to explain its contents in the end of October 2007.

6-4) In case that the contents of the draft report is accepted in principle by the Government of Tajikistan, JICA will complete the final report and send it to the Government of Tajikistan by January 2008.

Both sides confirmed that failure or delay of taking necessary measures of the Tajikistan side will decrease a scale of the Project.

7. Other relevant issues

7-1) Phases of the Study

The Japanese side explained that this Basic Design Study consisted of two phases - Phase I and Phase II.

In Phase I , the Japanese side will survey Moskovski Center and all the villages in Hamadoni District to examine possibility of rehabilitation of existing wells.

After the field survey, the Japanese side will study components of the Project in terms of appropriateness, necessity, budgetary constraint and so on. The Japanese side will also select candidate villages, where the existing well(s) will be judged to be possible to rehabilitate, with setting some criteria (e.g. population, maintenance ability, urgency).

In Phase II , the Japanese side will show the result of the Phase I Study to the Tajikistan side and both sides will discuss and agree the target villages for farther study in Phase II. And the Japanese side will proceed to Phase II study for basic design and cost estimation of the Project.

7-2) Components of the Project

With regard to components of the Project, both sides confirmed as follows;

a) Construction of new water supply facilities in Jamoats may be excluded from the Project for the reason that the Tajikistan side will construct new wells in Jamoats by themselves utilizing drilling equipment to be procured under the Project.

b) The Tajikistan side put high priority on "Rehabilitation of existing water supply facilities in Moskovski Center" and "Procurement of drilling rig and related equipment".

c) With regard to rehabilitation of existing water supply facilities in some villages of seven Jamoats, the target sites will be limited to villages having existing wells which can be rehabilitated by air-lifting method.

In Phase I study, the Japanese side will survey all the existing wells in Hamadoni District to examine possibility of rehabilitation. The candidate villages of the Project will be studied by the Japanese side.

In Phase II study, both sides will discuss and agree target villages with setting criteria (e.g. population, maintenance capability of relevant bodies, urgency, etc).

The Tajikistan side will construct the remaining necessary water supply facilities utilizing equipment to be procured under the Project.

d) Components to be included in the Project will be carefully examined and prioritized in Basic Design Study (Phase I and II) and it is not assured that all the components requested by the Tajikistan side will be included in the Project.

7-3) Conditions for realization of the Project

Both sides reconfirmed contents of the Minutes of Discussions on the Secondary Preliminary Study on the Project signed on December 7 2006, especially items 7-2 (Implementing structure of

the Tajikistan side), 7-3 (Securing electricity), 7-4 (Plan for construction of water supply facilities and necessary budget) and 7-5 (Maintenance Structure and Budget) of the Minutes of Discussions.

The Tajikistan side promised to take necessary measures as below with consultation to the Japanese side till 20 October 2007;

a) To make draft plan for securing necessary number of personnel of the Center with hiring schedule for implementing the project including drilling engineers for the operation of the drilling equipment to be procured under the Project, and to provide the Japanese side with the plan that must be agreed and approved with the relevant Government Agencies.
b) To prepare concrete plan for construction of water supply facilities in Hamadoni District during at least five years after hand over of the said drilling equipment to the Tajikistan side
c) To provide the Japanese side with firm information including evidential documents on progress of Sangtudinskaya hydroelectric power station-1 construction issued by the relevant Governmental Agencies with cover letter of the Center.
d) To secure necessary budget for the above construction of water supply facilities in Hamadoni District and to provide the Japanese side with evidential documents issued by Ministry of Finance on confirming the distribution of necessary budget.
e) To formulate maintenance structure of the Project and to provide the Japanese side with evidential documents.
f) To secure necessary budget for proper maintenance of water supply facilities to be constructed under the Project and to provide the Japanese side with evidential documents issued by Ministry of Finance on confirming the distribution of necessary budget.

The amount of estimated necessary budget for d) and f) will be shown by the Japanese side to the Tajikistan side on 1 October 2007 in condition that schedule of the Study described in article 6 of this Minutes of Discussions will be kept.

Both sides understood that failure or delay to take above mentioned measures will possibly cause delayed implementation of the Project.

7-4) Existing wells survey

The Japanese side requested, for the smooth implementation of existing wells survey, the Committee of Emergency Situations and Civil Defense and the Center to provide the Team with matters as follows;

(1) To provide the Team with necessary permission for the entry to the sites of the existing water supply facilities and for inspection of the facilities.
(2) To provide the Team with necessary permission to remove or dismantle the existing pump equipment from the well in the Study sites. And to prepares a yard with necessary space for storing the removed pumps and inform it to the Team.
(3) To provide the Team with necessary permission for inspection of the existing well by using

borehole camera.

(4) To deploy operators of the existing water supply facilities to provide information of the facilities to the Team in accordance with a study schedule prepared by the Team.

7-5) Deep wells equipped with Hand pumps

The Tajikistan side explained that they can adopt hand pump water supply system to the villages with small population and where there is no electricity supply. The Tajikistan side will study possibility of adopting hand pumps with related Authorities and inform the result of the Japanese side by 1 July 2007.

The Japanese side pointed out that failure to adopt hand pump water supply system will make negative impact on the decision of procurement of drilling equipment.

7-6) The Deployment of the counterpart personnel

The Japanese side requested the Committee of Emergency Situations and Civil Defense and the Center to deploy a team of personnel as counterparts composed of relevant organizations to assist the activities of the Study Team during field survey of the Phase II in accordance with the following criteria.

Period: from late of June to end of July 2007

Expertise: 1) Planning of water supply system

2) Groundwater Development, Drilling equipment planning

3) Facilities Designing & Planning

4) Operation & maintenance of the facilities, socioeconomic survey

5) Cost estimation, Procurement Planning of equipment and material

The Tajikistan side agreed to take necessary measures to appoint the team of counterpart consisting 5 persons as mentioned above, to deploy them, and to secure a necessary budget to cover their salary, travel allowance and transportation. The Center agreed to submit the letter about completion of above arrangements to JICA Tajikistan Office by 10 June 2007.

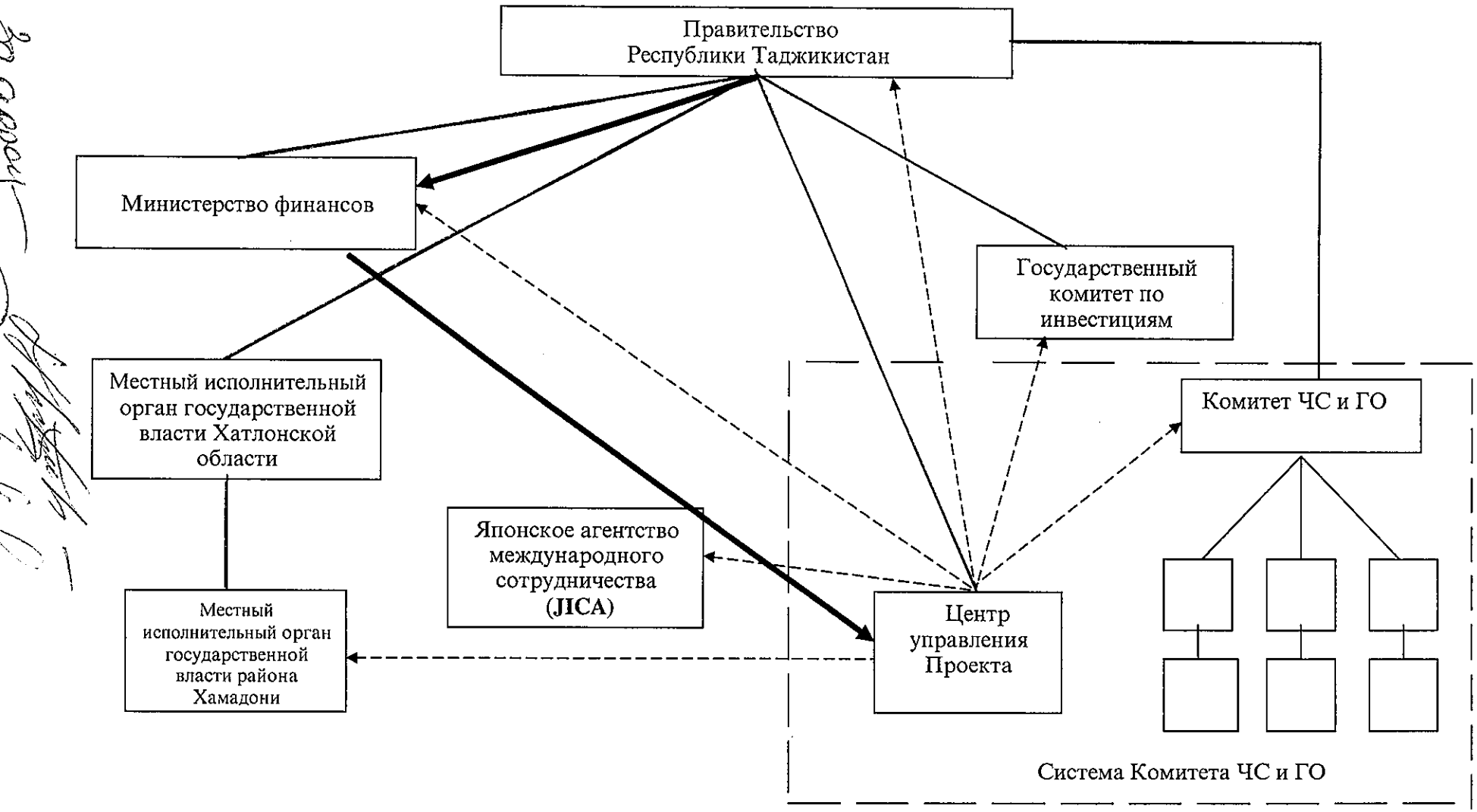
7-7) The Expansion of water supply activities in future

Both sides confirmed that after completion of constructing water supply facilities in Hamadoni District, the Tajikistan side will expand their water supply activities to the other areas with proper use of the equipment procured under the Project.

7-8) Documents to be submitted to the Japanese side by the Tajikistan side

Both sides confirmed documents to be submitted to the Japanese side by the Tajikistan side as attached in Annex-2.

Приложение 1.



Финансирование Центра

Подотчетность Центра государственным ведомствам и Японскому агентству международного сотрудничества

Annex-2: List of Documents to be exchanged between both sides

No	Name	Deadline	Remark
1	List of the counterpart personnel	10 June 2007	To be issued by the Center
2	Plan for securing personnel of the Center	20 October 2007	The Center will submit the plan with signature of relevant Agencies/ The Center shall get approval of the Japanese side
3	Plan for construction of water supply facilities during at least five years	20 October 2007	To be issued by the Center/ The Center shall get approval of the Japanese side
4	Sangtudinskaya hydroelectric power station-1	20 October 2007	From relevant Authorities and the cover letter from the Center
5	Estimated budget for the construction of water supply facilities	On 1st October 2007	The Japanese side will show estimated amount of necessary budget to secure the budget.
6	Budget arrangement for construction of water supply facilities	20 October 2007	The Center shall submit the evidential document issued by the Ministry of Finance based on the regulations of the Government No.514.
7	Estimated budget for operation and maintenance	On 1st October 2007	The Japanese side will show estimated amount of necessary budget to secure the budget.
8	Budget arrangement for operation and maintenance	20 October 2007	The Center shall submit the evidential document issued by the Ministry of Finance based on the regulations of the Government No.514.

Annex-3: JAPAN'S GRANT AID SCHEME

1. Grant Aid Procedure (Attachment 1)

1) Japan's Grant Aid Program is executed through the following procedures.
Application (Request made by a recipient country)
Study (Basic Design Study conducted by JICA)
Appraisal & Approval (Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet)
Determination of Implementation (The Notes exchanged between the Governments of Japan and the recipient country)

2) Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by a recipient country is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA to conduct a study on the request. If necessary, JICA send a Preliminary Study Team to the recipient country to confirm the contents of the request.

Secondly, JICA conducts the study (Basic Design Study), using Japanese consulting firms.

Thirdly, the Government of Japan appraises the project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Programme, based on the Basic Design Study report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes signed by the Governments of Japan and the recipient country.

Finally, for the implementation of the project, JICA assists the recipient country in such matters as preparing tenders, contracts and so on.

2. Basic Design Study

1) Contents of the Study
The aim of the Basic Design Study (hereinafter referred to as "the Study"), conducted by JICA on a requested project (hereinafter referred to as "the Project"), is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Government of Japan. The contents of the Study are as follows:

a) Confirmation of the background, objectives and benefits of the Project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation;

b) Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from the technical, social and economic points of view;

c) Confirmation of items agreed on by both parties concerning the basic concept of the Project;

d) Preparation of a basic design of the Project; and

e) Estimation of costs of the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Basic Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid Scheme.

The Government of Japan requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even through they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

2) Selection of Consultants

For the smooth implementation of the Study, JICA uses a consulting firm selected through its own procedure (competitive proposal). The selected firm participates the Study and prepares a report based upon the terms of reference set by JICA.

At the beginning of implementation after the Exchange of Notes, for the services of the Detailed Design and Construction Supervision of the Project, JICA recommends the same consulting firm which participated in the Study to the recipient country, in order to maintain the technical consistency between the Basic Design and Detailed Design as well as to avoid any undue delay caused by the selection of a new consulting firm.

3. Japan's Grant Aid Scheme

1) What is Grant Aid?

The Grant Aid Program provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

2) Exchange of Notes (E/N)

Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Notes exchanged by the two Governments concerned, in which the objectives of the project, period of execution,

conditions and amount of the Grant Aid, etc., are confirmed.

3) "The period of the Grant" means the one fiscal year which the Cabinet approves the project for. Within the fiscal year, all procedure such as exchanging of the Notes, concluding contracts with consulting firms and contractors and final payment to them must be completed.
However, in case of delays in delivery, installation or construction due to unforeseen factors such as weather, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year at most by mutual agreement between the two Governments.

4) Under the Grant, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country.
However, the prime contractors, namely consulting, contracting rement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means persons of Japanese nationality or Japanese corporations controlled by persons of Japanese nationality.)

5) Necessity of "Verification"
The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. This "Verification" is deemed necessary to secure accountability of Japanese taxpayers.

6) Undertakings required to the Government of the recipient country (Attachment 2)
   a) to secure a lot of land necessary for the construction of the Project and to clear the site;
   b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities outside the site;
   c) to ensure prompt unloading and customs clearance at ports of disembarkation in the recipient country and internal transportation therein of the products purchased under the Grant Aid;
   d) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts;
   e) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contracts such as facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work;

f) to ensure that the facilities constructed and products purchased under the Grant Aid be maintained and used properly and effectively for the Project; and

g) to bear all the expenses, other than those covered by the Grant Aid, necessary for the Project.

7) "Proper Use"

The recipient country is required to maintain and use the facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign the necessary staff for operation and maintenance of them as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

8) "Re-export"

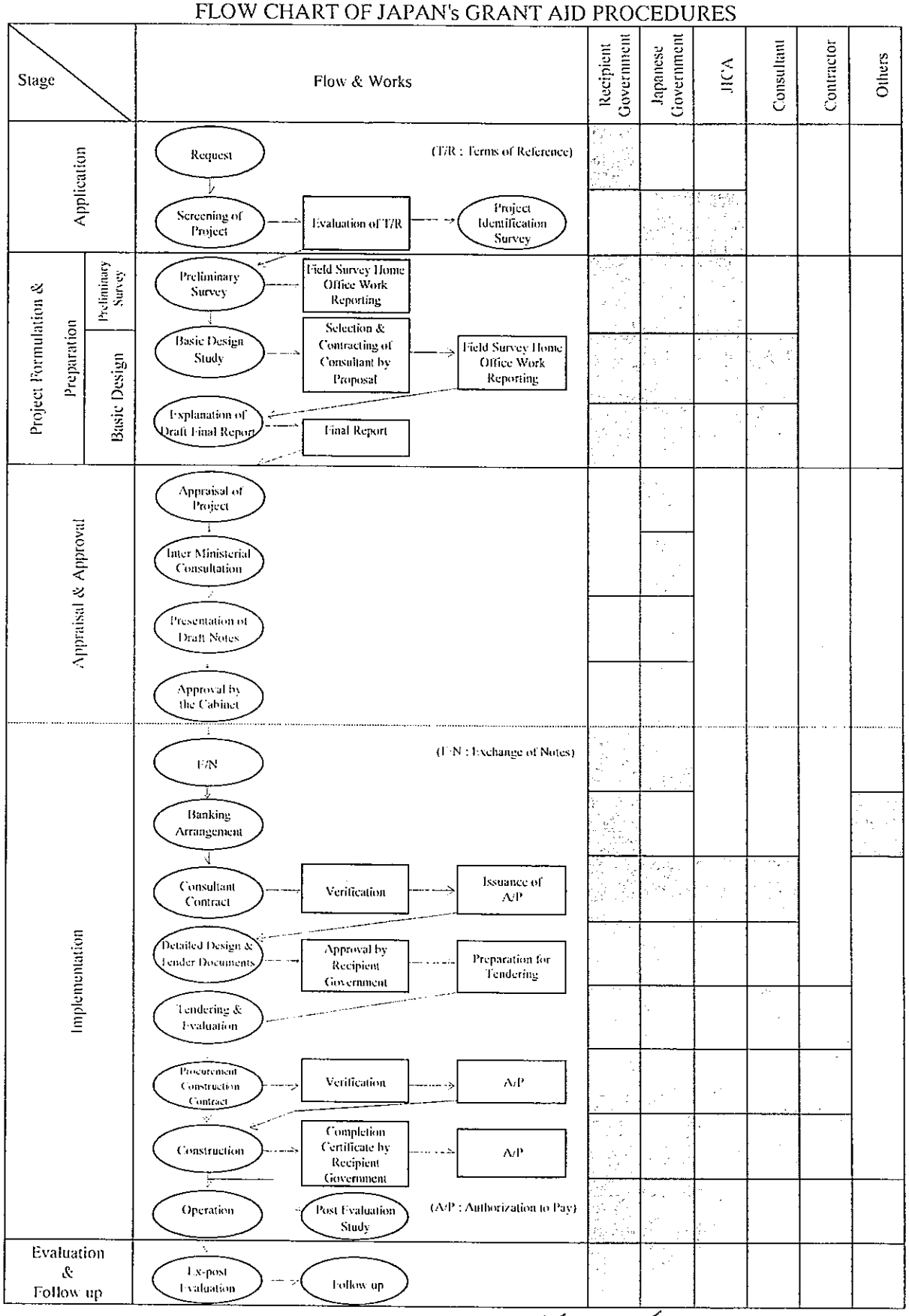
The products purchased under the Grant Aid shall not be re-exported from the recipient country.

9) Banking Arrangement (B/A)

a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in an authorized foreign exchange bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the verified contracts.

b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Government of recipient country or its designated authority.

FLOW CHART OF JAPAN's GRANT AID PROCEDURES



Annex-4

Major Undertakings to be taken by Each Government

NO	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient side
1	To secure land		●
2	To clear, level and reclaim the site when needed		●
3	To construct gates and fences in and around the site when needed		●
4	To construct the parking lot	●	
5	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
6	To construct the building	●	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity		
	a. The distribution line to the site		●
	b. The drop wiring and internal wiring within the site	●	
	c. The main circuit breaker and transformer	●	
	2)water Supply		
	a. The city water distribution main to the site		●
	b. The supply system within the site (receiving and/or elevated tanks)	●	
	3) Drainage		
	a. The City drainage main (for storm, sewer and others) to the site		●
	b. The drainage system(for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	●	
	4) Gas Supply		
	a. The city gas main to the site		●
	b. The gas supply system within the site	●	
	5) Telephone system		
	a. the telephone trunk line to the main distribution frame/ panel (MDF) of the building		●
	b. the MDF and the extension after the frame/pannel	●	
	6) Furniture and equipment		
	a. General furniture		●
	b. Project equipment	●	
8	To bear the following commissions to a bank of Japan for the banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
9	To ensure prompt unloading and customs clearance at the port of disembarkation in recipient country		
	1) Marine (Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	●	
	2) Tax exemption and custom clearance of the products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	(●) *	(●) *

10	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		•
11	To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contract		•
12	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid		•
13	To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for the transportation and installation of the equipment		•

(B/A: Banking Arrangement, A/P: Authorization to Pay)
(•) *: To be discussed through further Study.

ПРОТОКОЛ ПЕРЕГОВОРОВ

По изучению базового проектирования (Фаза 1) Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони Хатлонской области Республики Таджикистан

В ответ на запрос Правительства Республики Таджикистан (в дальнейшем именуемой «Таджикистан»), Правительство Японии решило провести изучение базового проектирования Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони Хатлонской области (в дальнейшем именуемой «Проект») и поручило его проведение Японскому агентству международного сотрудничества (в дальнейшем именуемой «JICA»).

JICA направило в Республику Таджикистан Группу изучения базового проектирования (фаза 1), (в дальнейшем именуемой «Группа»), во главе с г-ном Сатору ХАГИВАРА, директором третьей проектной группы департамента по управлению безвозмездной помощи JICA. График пребывания Группы в Республике Таджикистан с 19 апреля по 29 мая 2007 года.

Группа провела ряд дискуссий с заинтересованными официальными лицами Правительства Республики Таджикистан и обследование на проектных объектах района изучения.

В результате проведенных дискуссий и исследования на месте, обе стороны подтвердили главные пункты, приведенные в приложениях.

Данный Протокол переговоров подписан на английском и на русском языках. В случае возникновения разночтения настоящего Протокола английский текст имеет преимущественную силу.

г.Душанбе, 26 апреля 2007 года

Г-н ХАГИВАРА Сатору
Руководитель Группы изучения
базового проектирования,
Японское Агентство
Международного Сотрудничества
(JICA)

Г-н ЗОКИРОВ Махмадтоир
Председатель Комитета по
чрезвычайным ситуациям и гражданской
обороне при Правительстве Республики
Таджикистан

Г-н САФАРОВ Зафар
Директор Государственного учреждения
«Центр управления Проекта
по обеспечению питьевой водой
населения района Мир Сайид Алии
Хамадони», Республика Таджикистан

ПРИЛОЖЕНИЕ

1. Цель Проекта

Цель Проекта состоит в том, чтобы предоставить населению питьевую воду и обеспечить их здоровье через улучшение состояния объектов водоснабжения в районе проведения Проекта.

2. Место проведения Проекта

Место проведения Проекта - район Мир Сайид Алии Хамадони (в дальнейшем именуемым «Район Хамадони») Хатлонской области.

3. Ответственная и исполнительная организации

3-1) Ответственная организация за реализацию Проекта: Комитет по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороне при Правительстве Республики Таджикистан.

3-2) Исполнительная организация: Государственное учреждение «Центр управления Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони (в дальнейшем именуемый «Центр»).

3-3) Таджикская сторона отметила, что вышеуказанные ответственные и исполнительные организации утверждены постановлением Правительства Республики Таджикистан № 414, от 31 октября 2005 года.

3-4) Таджикская сторона утвердила Координационный совет с целью беспрепятственного решения вопросов Проекта, поручением Правительства Республики Таджикистан № 38141(15-3), от 5 апреля 2007 года, состав которого состоит из представителей 15 заинтересованных министерств и ведомств Республики Таджикистан.

Настоящий Протокол переговоров согласован (подписями на обороте Протокола) с Отделом экологии и чрезвычайных ситуаций, Отделом экономических реформ и инвестиций, Отделом строительства и архитектуры Исполнительного аппарата Президента Республики Таджикистан, отделом по управлению инвестиционными проектами Департамента государственного бюджета Министерства финансов Республики Таджикистан, управлением инвестиции Государственного комитета по инвестициям и управления государственным имуществом Республики Таджикистан.

Стороны приняли решение, что Японская сторона может продолжить дальнейшее изучение только после согласования данного Протокола переговоров с соответствующими отделами ИАПРТ.

Организационная структура Центра разъяснена в приложении 1 Таджикской стороной.

4. Содержание запроса Правительства Республики Таджикистан

В результате обсуждений Группы изучения с Таджикской стороной окончательно были запрошены нижеследующие пункты.

(1) Реабилитация существующих сооружений водоснабжения в районом центре поселке «Москва».

(2) Реабилитация существующих сооружений водоснабжения в некоторых из 7 джамоатах ;

(3) Строительство новых сооружений водоснабжения в некоторых из 7 джамоатах;

(4) Поставка буровой установки и оборудования;

(а) Буровая установка на автомобильной шасси; (глубина бурения скважины – 100 м): 1 единица;

(б) Передвижной воздушный компрессор высокого давления: 1 единица;

(в) Запасные части: 1 комплект;

(г) Буровые инструменты и принадлежности: 1 комплект;
(д) Оборудование для геофизической съемки: 1 комплект;
(е) Автоцистерна для водоснабжения: 1 единица;
(ж) Грузовой автомобиль грузоподъемностью не менее 12 тонн с грузоподъемным краном: 1 единица;

(5) Обучение персонала для передачи практики бурения

JICA будет оценивать целесообразность запроса в ходе изучения.

5. Схема Японской безвозмездной помощи

5)-1 Таджикская сторона принимает схему Японской безвозмездной помощи, о которой дано разъяснение Группой, как изложено в Дополнениях 1 и 2.

5)-2 Таджикская сторона предпримет необходимые меры для беспрепятственного осуществления Проекта, что является необходимым условием для осуществления Японской безвозмездной помощи.

6. График изучения

6-1) Члены Группы продолжат исследования в Республике Таджикистан до 29 мая 2007 года.

6-2) JICA проведет анализ результатов исследования в Японии и направит вторую миссию для продолжения дальнейшего исследования в конце июня 2007 года.

6-3) JICA подготовит проект отчета на английском языке и направит миссию, чтобы объяснить его содержание в конце октября 2007 года.

6-4) В случае, если содержание отчета по проекту будет одобрено Правительством Республики Таджикистан, JICA подготовит окончательный отчет и направит его Правительству Республики Таджикистан до 1 января 2008 года.

Обе стороны согласовали, что в случае несвоевременного принятия мер или задержек по выполнению Проекта со стороны Республики Таджикистан, вышеуказанный график изучения может быть уменьшен в объеме работ.

7. Дополнительные важные пункты

7-1) Фазы изучения

Японская сторона объяснила, что изучение по базовому проектированию состоит из двух фаз: Фаза 1 и 2.

В период Фазы 1, Японская сторона ознакомится с существующими скважинами в поселке «Москва», во всех других сельских населенных пунктах района Хамадони, чтобы исследовать возможность их восстановления.

После полевого исследования Японская сторона изучит компоненты Проекта с точки зрения целесообразности, потребности, бюджетного ограничения и так далее. Японская сторона также выберет приоритетные населенные пункты, где существующие скважины подлежат восстановлению, с точки зрения таких критериев, как численность населения, способность технического обслуживания скважин, безотлагательность.

В период фазы 2, Японская сторона представит результаты изучения Фазы 1 Таджикской стороне, после чего обе стороны проведут обсуждения и определят соответствующие населенные пункты для дальнейшего изучения в Фазе 2. После этого Японская сторона приступит к изучению Фазы 2 для подготовки базового проектирования и составления сметы Проекта.

7-2) Компоненты Проекта

Относительно компонентов Проекта обе стороны согласились со следующими

пунктами:

а) Строительство новых объектов водоснабжения в джамоатах может быть исключено из Проекта, так как Таджикская сторона будет бурить новые скважины в джамоатах, используя буровое оборудование, поставляемое в рамках Проекта.

б) Таджикская сторона придает высокий приоритет «Реабилитации существующих объектов водоснабжения в поселке «Москва» и «Поставке буровой установки и оборудования».

в) Относительно реабилитации существующих объектов водоснабжения в отдельных населенных пунктах из 7 джамоатах, проектными объектами могут являться только те населенные пункты, в которых существующие скважины подлежат восстановлению путем аэролифта.

В период исследования Фазы 1, Японская сторона рассмотрит все существующие скважины в районе Хамадони для определения возможности их восстановления. Рассматриваемые населенные пункты будут изучены Японской стороной.

В период исследования Фазы 2, обе стороны проведут обсуждения и согласуют населенные пункты по таким критериям, как численность населения, наличие эксплутационных возможностей, безотлагательность и др.

Таджикская сторона проведет строительство остальных объектов водоснабжения, используя буровое оборудование, поставляемое в рамках Проекта.

г) Компоненты, вносимые в Проект, будут тщательно изучены и распределены по их приоритетности во время базового проектирования (Фазы 1 и 2), но это не означает, что все компоненты, запрашиваемые Таджикской стороной, могут быть включены в Проект.

7-3) Условия для реализации Проекта

Обе стороны подтвердили содержание Протокола переговоров по повтороному предварительному изучению Проекта, подписанного 7 декабря 2006 года, в частности, пункты: 7-2 (организационная структура Таджикской стороны); 7-3 (обеспечение электроэнергией); 7-4 (план строительства объектов водоснабжения и необходимые бюджетные средства) и 7-5 (структура технического обслуживания и бюджетные средства).

Таджикская сторона обязалась предпринять нижеследующие необходимые меры до 20 октября 2007 года, предварительно проведя консультации с Японской стороной;

а) Составить конкретный план, обеспечивающий необходимый состав персонала работников Центра, чтобы осуществить Проект, в т. ч. указать специалистов для эксплуатации бурового оборудования, поставляемого в рамках Проекта, и предоставить Японской стороне план за подписью ответственных организаций. График набора персонала работников также будет представлен.

б) Составить пятилетний план строительства объектов водоснабжения в районе Хамадони после передачи оборудования бурения Таджикской стороне.

в) Предоставить Группе изучения подробную информацию о сроках завершения строительства Сангтудинской ГЭС-1 от соответствующего министерства.

г) Предусмотреть финансовые средства необходимые для вышеупомянутого строительства объектов водоснабжения в районе Хамадони и представить подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов Республики Таджикистан в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года.

д) Сформулировать режим технического обслуживания объектов в рамках Проекта и представить Японской стороне согласованный документ.

е) Для надлежащего технического обслуживания объектов водоснабжения, которые будут построены в рамках Проекта представить подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов Республики Таджикистан в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года..

Общая расчетная смета, необходимая для пунктов «г» и «е» будет предоставлена Японской стороной Таджикской стороне до 1 октября 2007 года при условии, что график изучения, изложенный в статье 6 настоящего Протокола, будет своевременно выполнен.

Обе стороны согласовали, что непринятие своевременных вышеуказанных мер, может повлиять на сроки выполнения Проекта.

7-4) Ознакомление с существующими скважинами

С целью беспрепятственного проведения изучения, Японская сторона обратилась к Комитету по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороне и Центру с просьбой о нижеследующем:

(1) Предоставить Группе изучения необходимое разрешение посещать участки существующих объектов водоснабжения и осуществлять их осмотр.
(2) Предоставить Группе изучения необходимое разрешение на демонтаж насосов от существующих скважин в участках изучения Проекта; подготовить необходимое место для хранения демонтированных насосов и информировать Группу изучения.
(3) Предоставить Группе изучения необходимое разрешение на осмотр существующих скважин, используя глубинную видеокамеру.
(4) Определить операторов существующих объектов водоснабжения для предоставления имеющейся информации об этих объектах Группе изучения в соответствии с графиком выполнения Проекта.

7-5) Артезианские скважины, оборудованные ручными насосами

Таджикская сторона разъяснила, что применение ручных насосов в системе водоснабжения возможно для малонаселенных и необеспеченных электричеством пунктов, для этого Таджикская сторона рассмотрит возможность применения ручных насосов для питьевого водоснабжения совместно с соответствующими министерствами и ведомствами Республики Таджикистан и до 1 июля 2007 года сообщит о результатах Японской стороне.

Японская сторона отметила, что исключение применение ручных насосов может отрицательно повлиять на решение поставки бурового оборудования.

7-6) Обеспечение партнерского персонала

Японская сторона обратилась к Комитету по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороне и Центру с просьбой предложить группу персонала специалистов в качестве партнеров из состава специалистов соответствующих ведомств и организаций республики для оказания помощи Группе изучения в ее деятельности во время исследования Фазы 2 в районе Хамадони, с учетом следующих критерий:

Период: с конца июня до конца июля 2007 года.

Специалисты:
1) Планирования системы водоснабжения;
2) Освоения грунтовых вод, планирование бурильного оборудования;
3) Проектирования и планирования объектов водоснабжения;
4) Эксплуатации и технического обслуживания объектов водоснабжения, а также изучение социально-экономических условий;
5) Расчета сметной стоимости, планирование материально-технического обеспечения.

Таджикская сторона примет необходимые меры для обеспечения вышеуказанной группы партнерского персонала в составе 5 человек, а также решит расходы по их содержанию. Центр предварительно сообщит Японской стороне о готовности группы партнерского персонала до 10 июня 2007 года.

7-7) Перспективное развитие питьевого водоснабжения

Обе стороны согласовали, что после завершения строительства объектов водоснабжения в районе Хамадони, Таджикская сторона будет продолжать деятельность по развитию системы водоснабжения и в других районах, используя оборудование, поставляемое в рамках данного Проекта.

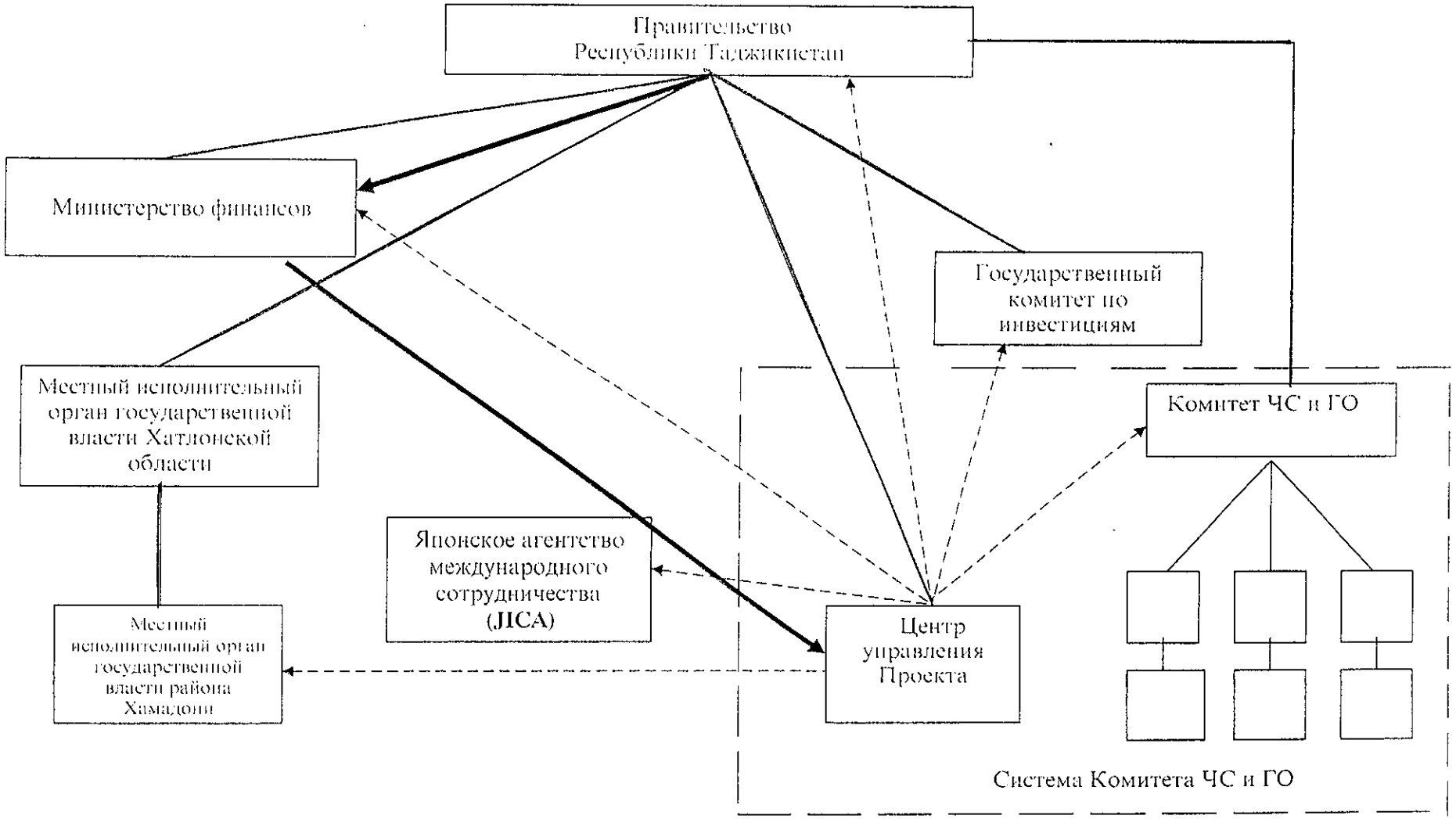
7-8) Необходимые документы, представляемые обеими сторонами

Стороны согласовали документы, представляемые обеими сторонами. Перечень документов прилагается в Приложении 2.

Приложение 2. Перечень взаимно представляемых документов

№	Содержание	Сроки представления	Примечания
1	Список партнерского персонала	10. 06. 2007 года	Подготовит Центр.
2	План штата сотрудников Центра	20. 10. 2007 года	Центр представит план с подписями уполномоченных организаций / По согласованию с Японской стороной.
3	Пятилетний план развития строительства объектов водоснабжения	20. 10. 2007 года	Подготовит Центр / по согласованию с Японской стороной
4	Строительство Сангтудинской ГЭС-1	20. 10. 2007 года	От соответствующего министерства с сопровождающим письмом Центра
5	Сметный расчет для строительства объектов водоснабжения	До 1 октября 2007 года	Японская сторона представит сметный расчет для выделения бюджетных средств.
6	О выделение денежных средств для строительства объектов водоснабжения	До 20 октября 2007 года	Центр представит подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года.
7	Сметный расчет для эксплуатации и технического обслуживания	На 1 октября 2007 года	Японская сторона представит сметный расчет для выделения бюджета.
8	О выделение денежных средств для эксплуатации и технического обслуживания	На 20 декабря 2007 года	Центр представит подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года.

Приложение 1.



Финансирование Центра

Подотчетность Центра государственным ведомствам и Японскому агентству международного сотрудничества

ПРИЛОЖЕНИЕ 3. СХЕМА ЯПОНСКОЙ БЕЗВОЗМЕЗДНОЙ ПОМОЩИ

1. Процедуры Японской безвозмездной помощи (Приложение 1)

1) Программа Японской безвозмездной помощи проводится следующими процедурами
Заявка (запрос составляется страной-реципиентом)
Изучение (изучение базового проекта, проводимое «ЯАМС=JICA»)
Экспертиза и утверждение (экспертиза Правительством Японии и утверждение Кабинетом министров)
Решение о реализации (подписание обменных нот между Правительством Японии и Правительством страны-реципиента)

2) Во-первых, заявка на проект по безвозмездной помощи, представленной страной-реципиентом, рассматривается Правительством Японии (Министерством иностранных дел) с целью выяснения: подходит ли проект к безвозмездной помощи. Если заявка считается подходящей, то Правительство Японии поручает JICA (Японское Агентство Международного Сотрудничества) провести изучение по этому запросу.
Во-вторых, JICA проводит изучение (изучение базового проекта) с помощью Японских консалтинговых фирм.
В-третьих, на основе отчета об изучении базового проекта, составленного JICA, Правительство Японии оценивает Проект с точки зрения, соответствует ли Проект требованиям Японской Программы безвозмездной помощи. Результаты оценки представляются в Кабинет министров на утверждение.
В-четвертых, после утверждения Кабинетом министров, данный Проект приобретает официальный статус, когда подписываются Обменные ноты («О/Н») Правительствами Японии и страны-реципиента.
В конечном итоге, для успешного выполнения Проекта, JICA оказывает содействие стране-реципиенту в подготовке тендера, заключении контрактов и т.д.

2. Изучение базового проекта

1) Содержание изучения:
Цели изучения базового проекта, которое проводит JICA по запрошенному проекту (далее именуемое как «изучение»), заключаются в том, чтобы подготовить базовой документ, необходимый для экспертизы запрошенного проекта (далее именуемый «Проект») в Правительстве Японии.
В сферу изучения включаются следующие работы:

а) Подтверждение условий Проекта, целей и предполагаемой выгоды от Проекта, а также выяснение организационной готовности заинтересованных органов и ведомств в стране-реципиенте, необходимой для реализации Проекта;
б) Оценка целесообразности и соответствия Проекта принципам безвозмездной помощи с технической и социально-экономической точек зрения;
в) Подтверждение позиций базовой концепции, по которым была достигнута обоюдная договоренность;
г) Подготовка и разработка базовой проектной документации;
д) Определение сметной стоимости Проекта.

Совершенно не обязательно, чтобы содержание первоначальной заявки Правительства страны-реципиента было одобрено и включено в Проект в своей исходной форме. Базовое проектирование Проекта утверждается на основе положений и принципов Японской Программы безвозмездной помощи.
Правительство Японии требует от Правительства страны-реципиента предпринять меры, необходимые для обеспечения самостоятельных усилий при осуществлении

Проекта. Такие меры должны быть гарантированы даже в случае, когда они находятся вне компетенции организации в стране-реципиенте, исполняющей Проект. Следовательно, осуществление Проекта должно быть согласованно всеми заинтересованными организациями страны-реципиента на основе Протокола переговоров.

2) Выбор консультантов

В целях беспрепятственного проведения изучения JICA привлекает к этой работе консалтинговую фирму, избранную по своим процедурам (на основе тендерных условий).

Победившая фирма проводит изучение в установленных JICA рамках.

В начале выполнения после подписания Обменных нот, JICA рекомендует стране-реципиенту, чтобы консалтинговая фирма, участвовавшая в изучении работала и на период для рабочего проекта и шефмонтажа на строительстве. Это делается во избежание отставания в случае, если новая фирма будет подключена к выполнению Проекта.

3. Схема Японской безвозмездной помощи

1) Что такое безвозмездная помощь?

В соответствии с положениями Японского законодательства Программа безвозмездной помощи предоставляет стране-реципиенту не возвращаемые фонды для закупки технических средств, оборудования и услуг (проектно-технические услуги, транспортировка и т.п.) для целей экономического развития данной страны. Безвозмездная помощь не предусматривает поставку товаров в виде подарков или денежных пожертвований.

2) Обмен нотами (О/Н)

Безвозмездная помощь предоставляется в соответствии с Нотами, которыми обменялись два правительства. В этих документах определяются цели Проекта, срок выполнения, условия и объем помощи и прочие.

3) «Период действия безвозмездной помощи» означает тот финансовый год Японии, на который Кабинет министров утверждает Проект для реализации. В течение этого финансового года должны быть завершены все процедуры: подписание Обменных нот, заключение контрактов с консалтинговыми фирмами и подрядчиками, и вся оплата должна быть произведена окончательно.

Однако в случае задержек с поставками, строительством или монтажом из-за непредвиденных обстоятельств таких, как стихийные бедствия, период действия безвозмездной помощи может быть продлен еще максимум на один финансовый год по взаимному соглашению между двумя правительствами.

4) В рамках программы безвозмездной помощи, как правило, японские товары и услуги, и в т. ч. и транспортные или товары (услуги) страны-реципиента должны быть закуплены.

Если оба правительства решат, что это необходимо, то безвозмездные средства могут быть использованы для закупок товаров или услуг в третьих странах.

Однако, генподрядчиками, а именно, консалтинговыми, строительно-монтажными и поставщиками, могут быть только «Японские лица» (этот термин – «Японские лица» – означает лиц с японским гражданством или компании, которые контролируются лицами с японским гражданством).

5) Необходимость «контроля»

Правительство страны-реципиента или уполномоченный им орган заключает контракты в японской валюте с японскими лицами. Эти контракты подлежат

контролю со стороны Японского Правительства. Такой «контроль», или верификация, считается необходимой, чтобы исполнить подотчетность перед японскими налогоплательщиками.

6) Необходимые обязательства страны-реципиента:

а) Предоставить строительные площадки под объекты по Проекту, а также благоустроить площадки под строительство;

б) Обеспечить площадки электроэнергией, водоснабжением, канализацией и другими вспомогательными сооружениями и устройствами;

в) Гарантировать оперативную разгрузку, таможенную очистку в портах назначения в стране-реципиенте и транспортировки внутри страны для перевозок материалов и оборудования, закупленных в рамках Программы безвозмездной помощи;

г) Освободить Японских лиц от таможенных пошлин, внутренних налогов и налоговых сборов, налагаемых в стране-реципиенте в отношении товаров и услуг по утвержденным контрактам;

д) Обеспечить Японских лиц, чьи услуги могут быть востребованы в связи с поставкой товаров и услуг по утвержденным контрактам, такими льготами, которые могут быть необходимыми для их въезда в страну-реципиент и пребывания в ней для осуществления их работы;

е) Заверить, что построенные объекты и закупленные товары в рамках безвозмездной помощи будут сохраняться и эксплуатироваться эффективно и в соответствии с Проектом;

ж) Обеспечить все расходы, необходимые для Проекта, не покрываемые безвозмездными средствами.

7) «Надлежащее использование»
От страны-реципиента требуется, чтобы построенные сооружения и оборудование, закупленное в рамках безвозмездной помощи, эффективно использовались и содержались как следует, для чего должен быть назначен персонал по эксплуатации и обслуживанию. Также от страны-реципиента требуется нести все расходы, не покрываемые средствами гранта.

8) «Реэкспорт»
Товары, закупленные в рамках безвозмездной помощи, не могут быть реэкспортированы из страны-реципиента.

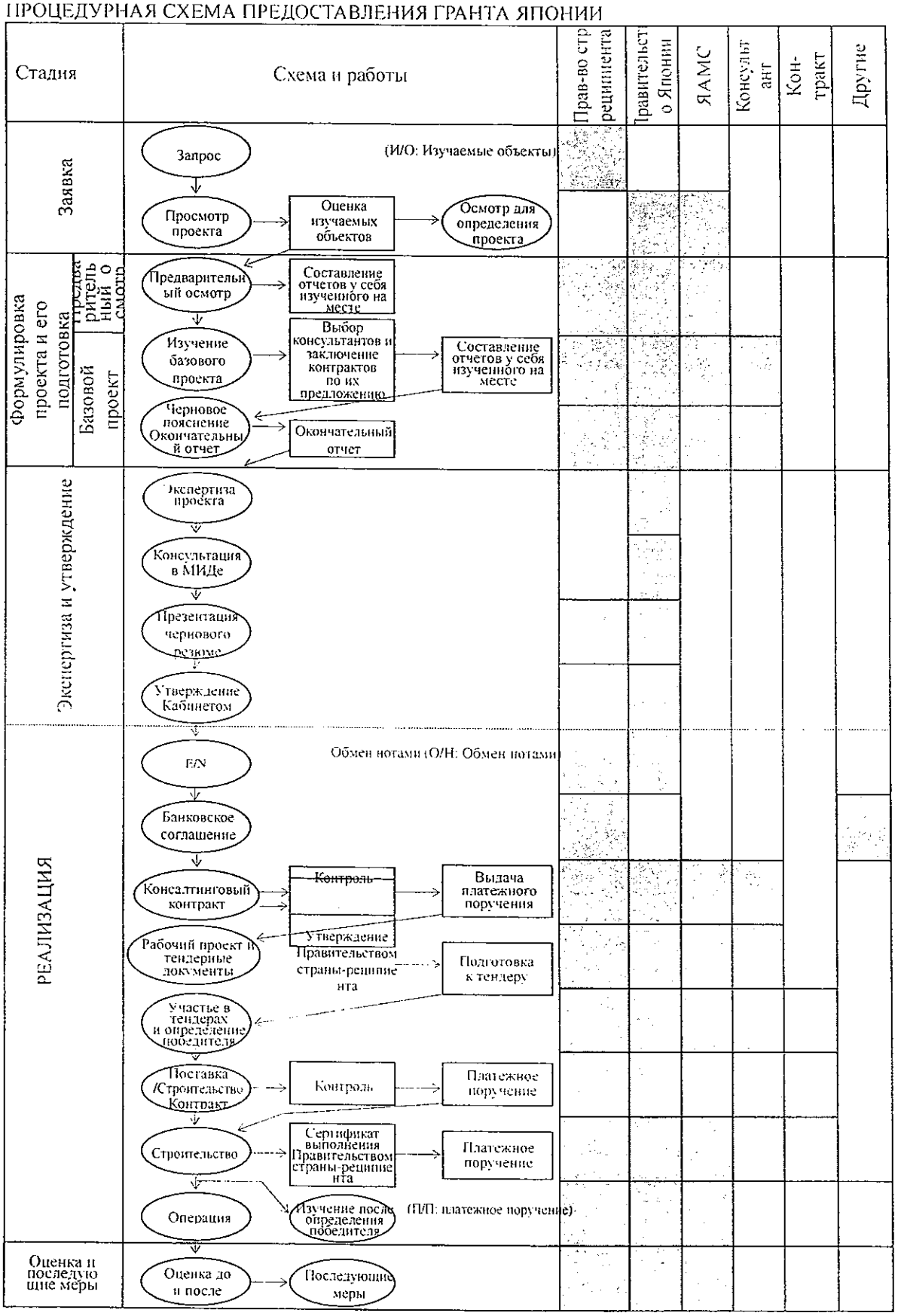
9) Банковское соглашение (Б/С)

а) Правительство страны-реципиента или его уполномоченный орган должен открыть банковский счет на имя Правительства страны-реципиента в Японском банке, имеющем право на обмен иностранными валютами (далее именуемый «Банк»). Правительство Японии будет осуществлять безвозмездную помощь путем перечисления на этот счет сумм в японских иенах для покрытия обязательств, которые несет на себя Правительство страны-реципиента или его уполномоченный орган по контрактам, прошедшим контроль;

б) Оплата будет производиться при представлении Банком платежного требования Японскому Правительству, на основе платежного поручения (П/П), выданного Правительством страны-реципиента или его уполномоченным органом.

10) Платежное поручение (П/П)
Правительство страны-реципиента должно оплатить комиссию за авизо по платежному поручению и комиссионную оплату банку.

ПРОЦЕДУРНАЯ СХЕМА ПРЕДОСТАВЛЕНИЯ ГРАНТА ЯПОНИИ



Приложение 4.

Основные меры, предпринимаемые каждым правительством

N:	Позиции	Покрывается безвозмездной помощью	Покрывается стороной-реципиентом
1	Обеспечить участки земли		●
2	Убрать, выравнивать, освоить площадки, если необходимо		●
3	Обеспечить проходной и забор на входе и вокруг площадок		●
4	Обеспечить автостоянки	●	
5	Обеспечить дороги		
	1) внутри площадок	●	
	2) вне площадок		●
6	Построить здание	●	
7	Обеспечить электроэнергию, водоснабжение, канализацию и вспомогательные устройства		
	1) Электричество		
	а. Распределительная линия до объектов		●
	б. Вводная и межобъектная прокладка кабелей	●	
	в. Главный автомат и трансформатор	●	
	2) Водоснабжения		
	а. Городской магистральный водовод до объекта		●
	б. Система водоснабжения внутри площадки (резервуар и/или	●	
	3) Дренаж		
	а. Городской магистральный дренаж (для проливного дождя, канализации и др.) до объекта		●
	б. Дренажная система (для фекальных, сточных вод, проливного дождя и др.) внутри площадки	●	
	4) Газоснабжение		
	а. Магистраль городского газа до объекта		●
	б. Система газоснабжения внутри площадок	●	
	5) Телефонная связь		
	а. Магистральная телефонная линия до главного коммутационного щита здания		●
	б. Главный коммутационный щит и удлинение за щитом	●	
	6) Мебель и оборудование		
	а. Общая мебель		●
	б. Оборудование для проекта	●	
8	Оплата ниже перечисленных комиссионных банку Японии за банковские услуги на основе Б/С		
	1) Комиссия за авизо П/П		●
	2) Платежная комиссия		●
9	Обеспечить оперативную разгрузку и таможенную очистку в порту назначения страны-реципиента		
	1) Морские (воздушные) перевозки товаров из Японии до страны-реципиента	●	
	2) Налоговые льготы и таможенная очистка товаров в порту назначения		●
	3) Внутренние перевозки от порта разгрузки до объекта проекта	(●) *	(●) *

10	Обеспечить японских лиц, чьи услуги могут быть востребованы в связи с поставкой товаров и услуг по утвержденным контрактам, такими льготами, которые могут быть необходимыми для их въезда в страну-реципиент и пребывания в ней для осуществления их работы		•
11	Освободить японских лиц от таможенных пошлин, внутренних налогов и налоговых сборов, налагаемых в стране-реципиенте в отношении товаров и услуг по утвержденным контрактам		•
12	Сохранить и эксплуатировать построенные сооружения и предоставленное оборудование в рамках безвозмездной помощи эффективно и целесообразно		•
13	Обеспечить все расходы, необходимые для перевозки оборудования и его установки на месте, не покрываемые безвозмездными средствами		•

(Б/С : Банковское соглашение, П/П: Платежное поручение)
(•) * : должно быть обсуждено в дальнейшем изучении

MINUTES OF DISCUSSIONS
on
The Basic Design Study (Phase II)
on
The Project for the Provision of Drinking Water for the Population of Mir Saiid Alii Khamadoni District of Khatlon Region in the Republic of Tajikistan

In response to the request from the Government of the Republic of Tajikistan (hereinafter referred to as "Tajikistan"), the Government of Japan decided to conduct a Basic Design Study on the Project for the Provision of Drinking Water for the Population of Mir Saiid Alii Khamadoni District of Khatlon Region (hereinafter referred to as "the Project") and entrusted the study to the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA").

JICA sent to Tajikistan the Basic Design Study Team (Phase II) (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Mr.Hiroyuki Kinomoto, Team Director, Water Resources Development and Environmental Management Team, Project Management Group III, Grant Aid Management Dept., JICA, and is scheduled to stay in the country from June 20 to July 24, 2007.

The Team held discussions with the officials concerned of the Government of Tajikistan.

In the course of discussions and field survey, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

This Minutes of Discussions is signed in both English and Russian in condition that the English version is treated as an official one.

Dushanbe, July 5, 2007

木野本 浩之

Mr. Hiroyuki Kinomoto
Leader
Basic Design Study Team
Japan International Cooperation Agency (JICA)

Mr. Mahmadtohir Zokirov
Chairman,
Committee of Emergency Situations and Civil Defence under the Government of the Republic of Tajikistan, the Republic of Tajikistan

Mr. Zafar Safarov
Director
The State Agency "Center for management of the project on supplying of potable water to population of Mir Saiid Alii Khamadoni District", the Republic of Tajikistan

ATTACHMENT

1. Objective of the Project

The objective of the Project is to provide the population with clean water and secure their health through improving drinking water supply facilities in the project area.

2. Project sites

The site of the Project is Mir Saiid Alii Khamadoni District (hereinafter referred to as "Khamadoni District") in Khatlon region.

3. Responsible and Implementing Agency

3-1) The Responsible Agency is the Committee of Emergency Situations and Civil Defense under the Government of the Republic of Tajikistan (hereinafter referred to as "CoES").

3-2) The Implementing Agency is the State Agency "Center for management of the project on supplying of potable water to population of Mir Saiid Alii Hamadoni District" (hereinafter referred to as "the Center").

3-3) The Tajikistan side explained that the above-mentioned Responsible and Implementing Agencies were approved by the regulation of the Government No.414 issued on 31 October 2005.

3-4) The Tajikistan side assigned the Coordination Committee for the Project by the regulation of the Government No.38141 (15-3) issued on 5 April 2007 for smooth implementation of the Project. The Coordination Committee consists of fifteen related Governmental Agencies.

This Minutes of Discussions was approved by the endorsements of the following Directors: Ecology and Emergency Situation Department, Economic Reforms and Investments Department, Construction and Architecture Department of the Executive Presidential Office of the Republic of Tajikistan.

The Investment Project Management Department of the Division of the State Budget of the Ministry of Finance of the Republic of Tajikistan, and the Investment Management Division of the State Committee on Investments and state property management of the Republic of Tajikistan signed this attachment as the token of approval.

The Tajikistan side explained that the Center is accountable to and supervised by the Government of the Republic Tajikistan, the Executive Presidential Office, CoES, Ministry of Finance and the State Committee on the Investments and State Property Management.

The Committee of Emergency Situation and Civil Defense in its turn supports the activity of the Center and provides the necessary assistance in the Project Implementation

4. Scope and Components of the Phase II Basic Design Study

After discussions with the Team, both sides confirmed scope of the Phase II Basic Design Study as follows;

(1) Rehabilitation of existing water supply facilities in Moskovski Center

(2) Rehabilitation of existing water supply facilities (public faucet system) in 2 villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat.

З. М.

(3) Procurement of drilling rig and related equipment

a) Truck mounted drilling rig (drilling capacity:100m)	1 unit
b) Truck mounted high pressure air compressor	1 unit
c) Spare parts	1 set
d) Drilling tools and accessories	1 set
e) Geophysical survey equipment	1 set
f) Truck with water tank	1 unit
g) Cargo truck with crane (carrying capacity: more than 12t)	1 unit

(4) On the Job Training (OJT) for transfer of drilling technique

The Japanese side will proceed to Basic Design for 1) rehabilitation of water supply facilities in Moskovski Center and 2 villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat 2) procurement of drilling equipment.

The Tajikistan side will construct water supply facilities in seven Jamoats in their own efforts utilizing drilling equipment to be procured by the Japanese side.

The components to be included in the Project will be carefully examined and prioritized in the Basic Design (Phase I and II) and it is not assured that all the components requested by the Tajikistan side will be included in the Project.

5. Japan's Grant Aid Scheme

5-1) The Tajikistan side understands the Japan's Grant Aid Scheme explained by the Team, as described in Annex-2.

5-2) The Tajikistan side will take the necessary measures, as described in Annex-3, for smooth implementation of the Project, as a condition for the Japanese Grant Aid to be implemented.

6. Schedule of the Study

6-1) The consultant members of the team will proceed to the Study in Tajikistan until July 24, 2007.

6-2) JICA will prepare the draft final report in Russian and dispatch a mission in order to explain its contents in the end of October 2007.

6-3) In case that the contents of the draft report is accepted in principle by the Government of Tajikistan, JICA will complete the final report and send it to the Government of Tajikistan by January 2008.

Both sides confirmed that failure or delay of taking necessary measures of the Tajikistan side will decrease a scale of the Project or delay implementing of the Project.

7. Other relevant issues

7-1) Hiring schedule of the Center personnel

The Japanese side requested the Tajikistan side to hire not less than 3 division directors of the Center and submit the evidential documents regarding hiring division directors to the Japanese side by 20 October 2007. The Japanese side pointed out that failure to hire these personnel before the said date will cause serious negative influence on approval for implementing the Project by the Government of Japan.

The Tajikistan side explained that in accordance with governmental procedure of Tajikistan, personnel of the Center will be hired within 90 days after E/N.

After discussions between both sides about this matter, the Tajikistan side proposed to send official request letter to the Government of Tajikistan for permission about hiring not less than 3 division directors of the Center within 90 days after the Government of Tajikistan receives final report of the Project before E/N between the Government of Japan and the Government of Tajikistan (namely, if the Japanese side submit the final report at the end of January 2008, the Tajikistan side shall hire division directors of the Center by the end of April) and explained that personnel of the Center will be selected through tenderings.

The Japanese side promised to convey this explanation of the Tajikistan side to the Government of Japan.

The Tajikistan side also promised to submit possible candidate list of the drilling engineers of the Center to the Japanese side by 20 October 2007.

7-2) Water Supply System to be constructed by the Tajikistan side in Jamoats

The Japanese side pointed out that most of the existing water supply facilities in Jamoats are house-connection system and it would cost so much to rehabilitate them as the same system.

The Tajikistan side explained that hand pump system and public faucet system are acceptable in all Jamoats and requested the Japanese side to provide hand pumps with the Tajikistan side. The Team didn't support this request.

The Tajikistan side will make water supply plan and will submit its plan and estimated construction cost to the Japanese side by 20 October 2007.

7-3) Deep wells equipped with Handpumps

The Tajikistan side explained that Ministry of Health of the Republic of Tajikistan allowed adopting hand pump water supply system with deep wells (depth 50m-60m) in Khamadoni District by issuing the letter No. 1-2/705-944 dated 21 May 2007.

7-4) Conditions for realization of the Project

The Tajikistan side shall take necessary measures as below with consultation to the Japanese side till 20 October 2007;

a) To make draft plan for securing necessary number of personnel of the Center with hiring schedule for implementing the project including drilling engineers for the operation of the drilling equipment to be procured under the Project, and to provide the Japanese side with the plan that must be agreed and approved with the relevant Government Agencies.

b) To submit possible candidate list of the drilling engineers of the Center to the Japanese side by 20 October 2007.

c) To prepare concrete plan for construction of water supply facilities in Khamadoni District during at least five years after hand over of the said drilling equipment to the Tajikistan side

d) To provide the Japanese side with firm information including evidential documents on progress of Sangtudinskaya hydroelectric power station-1 construction issued by the relevant Governmental Agencies with cover letter of the Center.

e) To secure necessary budget for the above construction of water supply facilities in Jamoats of the Khamadoni District and to provide the Japanese side with evidential documents issued by Ministry of Finance on confirming the distribution of necessary budget in accordance with the regulation of the Government No.514 issued on 2 December 2006.

f) To formulate maintenance structure of the Project and to provide the Japanese side with evidential documents.

g) To secure necessary budget for proper maintenance of water supply facilities to be constructed under the Project and to provide the Japanese side with evidential documents issued by Ministry of Finance on confirming the distribution of necessary budget in accordance with the regulation of the Government No.514 issued on 2 December 2006.

h) According to the proposal of The Ministry of Finance, the Tajikistan side requests the Japanese side to include allocation and withdrawal of Grant Aid proceeds by categories taking into account investment plan in the Minutes of Discussions of next mission in October 2007.

The amount of estimated necessary budget for e) and g) will be shown by the Japanese side to the Tajikistan side on 1 October 2007.

Both sides understood that without said documents the Japanese side cannot dispatch next Basic Design Study Team (for Explanation of Draft Final Report) and failure or delay to take above mentioned measures will cause delayed implementation of the Project.

7-5) Documents to be submitted by the both sides

Both sides confirmed documents to be submitted by both sides as attached in Annex-1.

Annex-1: List of Documents to be exchanged between both sides

N	Name	Deadline	Remark
1	Plan for securing personnel of the Center	20 October 2007	The Center will submit the plan with signature of relevant Agencies/ The Center shall get approval of the Japanese side
2	Plan for construction of water supply facilities during at least five years	20 October 2007	To be issued by the Center/ The Center shall get approval of the Japanese side
3	Possible Candidate list of drilling engineers of the Center	20 October 2007	The Center will submit the plan with signature of relevant Agencies
4	Sangtudinskaya hydroelectric power station-1	20 October 2007	From relevant Authorities and the cover letter from the Center
5	Estimated budget for the construction of water supply facilities in Jamoats of the district with installation of hand pumps	On 1st October 2007	The Japanese side will show estimated amount of necessary budget to secure the budget.
6	Budget arrangement for construction of water supply facilities in Jamoats of the district	20 October 2007	The Center shall submit the evidential document issued by the Ministry of Finance based on the regulations of the Government No.514 dated 02.12.2006
7	Estimated budget for operation and maintenance of the water supply facilities in Moskovski Center and in 2 villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat	On 1st October 2007	The Japanese side will show estimated amount of necessary budget to secure the budget.
8	Budget arrangement for operation and maintenance of the water supply facilities in Moskovski Center and in 2 villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat	20 October 2007	The Center shall submit the evidential document issued by the Ministry of Finance based on the regulations of the Government No.514, dated 02.12.2006

Annex-2: JAPAN'S GRANT AID SCHEME

1. Grant Aid Procedure (Attachment 1)

1) Japan's Grant Aid Program is executed through the following procedures.
Application (Request made by a recipient country)
Study (Basic Design Study conducted by JICA)
Appraisal & Approval (Appraisal by the Government of Japan and Approval by Cabinet)
Determination of (The Notes exchanged between the Governments of Japan
Implementation and the recipient country)

2) Firstly, the application or request for a Grant Aid project submitted by a recipient country is examined by the Government of Japan (the Ministry of Foreign Affairs) to determine whether or not it is eligible for Grant Aid. If the request is deemed appropriate, the Government of Japan assigns JICA to conduct a study on the request. If necessary, JICA send a Preliminary Study Team to the recipient country to confirm the contents of the request.

Secondly, JICA conducts the study (Basic Design Study), using Japanese consulting firms.

Thirdly, the Government of Japan appraises the project to see whether or not it is suitable for Japan's Grant Aid Programme, based on the Basic Design Study report prepared by JICA, and the results are then submitted to the Cabinet for approval.

Fourthly, the project, once approved by the Cabinet, becomes official with the Exchange of Notes signed by the Governments of Japan and the recipient country.

Finally, for the implementation of the project, JICA assists the recipient country in such matters as preparing tenders, contracts and so on.

2. Basic Design Study

1) Contents of the Study
The aim of the Basic Design Study (hereinafter referred to as "the Study"), conducted by JICA on a requested project (hereinafter referred to as "the Project"), is to provide a basic document necessary for the appraisal of the Project by the Government of Japan. The contents of the Study are as follows:

a) Confirmation of the background, objectives and benefits of the Project and also institutional capacity of agencies concerned of the recipient country necessary for the Project's implementation;

b) Evaluation of the appropriateness of the Project to be implemented under the Grant Aid Scheme from the technical, social and economic points of view;

c) Confirmation of items agreed on by both parties concerning the basic concept of the Project;

d) Preparation of a basic design of the Project; and

e) Estimation of costs of the Project.

The contents of the original request are not necessarily approved in their initial form as the contents of the Grant Aid project. The Basic Design of the Project is confirmed considering the guidelines of Japan's Grant Aid Scheme.

The Government of Japan requests the Government of the recipient country to take whatever measures are necessary to ensure its self-reliance in the implementation of the Project. Such measures must be guaranteed even through they may fall outside of the jurisdiction of the organization in the recipient country actually implementing the Project. Therefore, the implementation of the Project is confirmed by all relevant organizations of the recipient country through the Minutes of Discussions.

2) Selection of Consultants

For the smooth implementation of the Study, JICA uses a consulting firm selected through its own procedure (competitive proposal). The selected firm participates the Study and prepares a report based upon the terms of reference set by JICA.

At the beginning of implementation after the Exchange of Notes, for the services of the Detailed Design and Construction Supervision of the Project, JICA recommends the same consulting firm which participated in the Study to the recipient country, in order to maintain the technical consistency between the Basic Design and Detailed Design as well as to avoid any undue delay caused by the selection of a new consulting firm.

3. Japan's Grant Aid Scheme

1) What is Grant Aid?

The Grant Aid Program provides a recipient country with non-reimbursable funds to procure the facilities, equipment and services (engineering services and transportation of the products, etc.) for economic and social development of the country under principles in accordance with the relevant laws and regulations of Japan. Grant Aid is not supplied through the donation of materials as such.

2) Exchange of Notes (E/N)

Japan's Grant Aid is extended in accordance with the Notes exchanged by the two Governments concerned, in which the objectives of the project, period of execution,

conditions and amount of the Grant Aid, etc., are confirmed.

3) "The period of the Grant" means the one fiscal year which the Cabinet approves the project for. Within the fiscal year, all procedure such as exchanging of the Notes, concluding contracts with consulting firms and contractors and final payment to them must be completed.
However, in case of delays in delivery, installation or construction due to unforeseen factors such as weather, the period of the Grant Aid can be further extended for a maximum of one fiscal year at most by mutual agreement between the two Governments.

4) Under the Grant, in principle, Japanese products and services including transport or those of the recipient country are to be purchased.

When the two Governments deem it necessary, the Grant Aid may be used for the purchase of the products or services of a third country.
However, the prime contractors, namely consulting, contracting ırement firms, are limited to "Japanese nationals". (The term "Japanese nationals" means persons of Japanese nationality or Japanese corporations controlled by persons of Japanese nationality.)

5) Necessity of "Verification"
The Government of the recipient country or its designated authority will conclude contracts denominated in Japanese yen with Japanese nationals. Those contracts shall be verified by the Government of Japan. This "Verification" is deemed necessary to secure accountability of Japanese taxpayers.

6) Undertakings required to the Government of the recipient country (Attachment 2)
   a) to secure a lot of land necessary for the construction of the Project and to clear the site;
   b) to provide facilities for distribution of electricity, water supply and drainage and other incidental facilities outside the site;
   c) to ensure prompt unloading and customs clearance at ports of disembarkation in the recipient country and internal transportation therein of the products purchased under the Grant Aid;
   d) to exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contracts;
   e) to accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and services under the verified contracts such as facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work;

3.M.

f) to ensure that the facilities constructed and products purchased under the Grant Aid be maintained and used properly and effectively for the Project; and

g) to bear all the expenses, other than those covered by the Grant Aid, necessary for the Project.

7) "Proper Use"

The recipient country is required to maintain and use the facilities constructed and equipment purchased under the Grant Aid properly and effectively and to assign the necessary staff for operation and maintenance of them as well as to bear all the expenses other than those covered by the Grant Aid.

8) "Re-export"

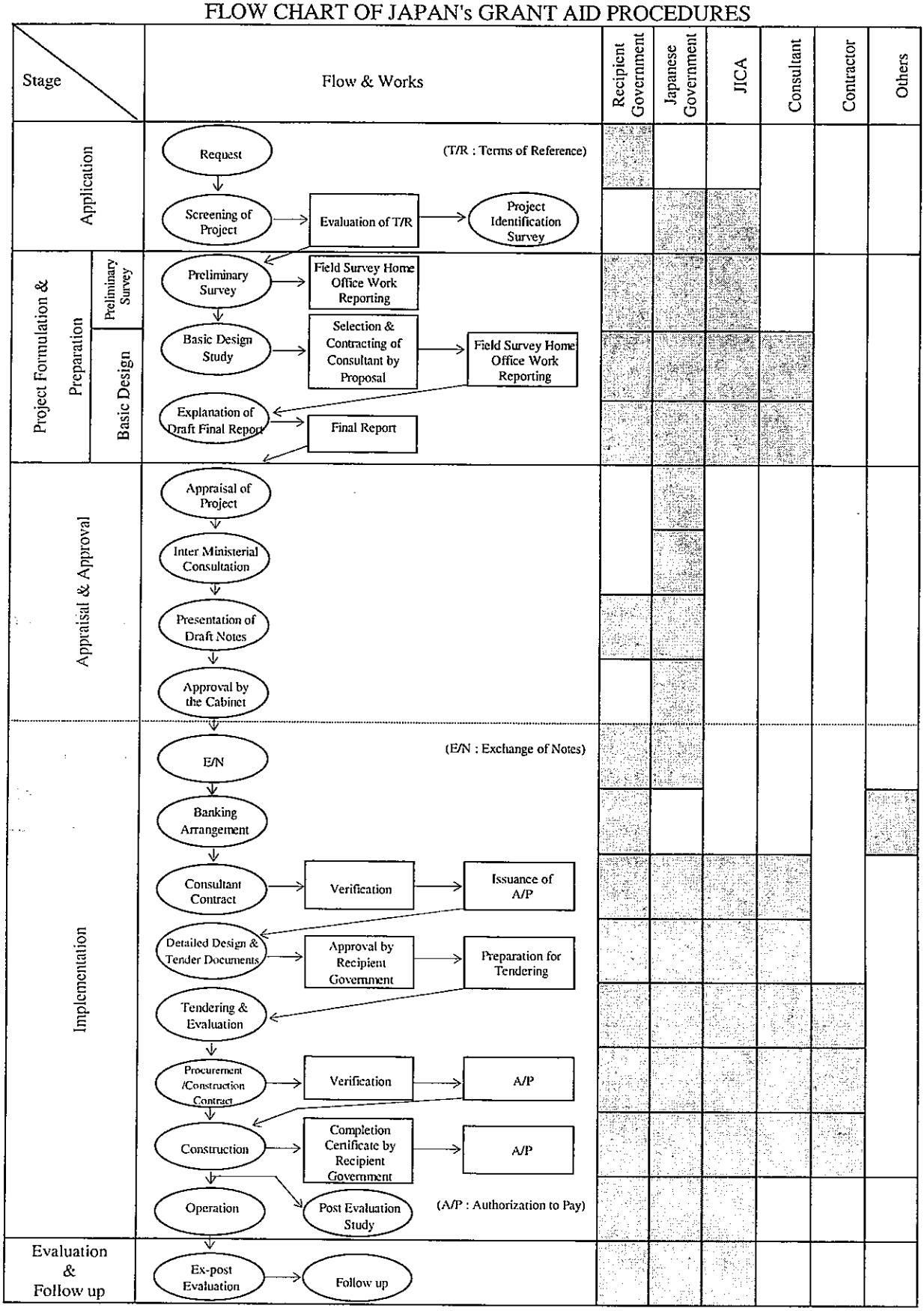
The products purchased under the Grant Aid shall not be re-exported from the recipient country.

9) Banking Arrangement (B/A)

a) The Government of the recipient country or its designated authority should open an account in the name of the Government of the recipient country in an authorized foreign exchange bank in Japan (hereinafter referred to as "the Bank"). The Government of Japan will execute the Grant Aid by making payments in Japanese yen to cover the obligations incurred by the Government of the recipient country or its designated authority under the verified contracts.

b) The payments will be made when payment requests are presented by the Bank to the Government of Japan under an Authorization to Pay (A/P) issued by the Government of recipient country or its designated authority.

FLOW CHART OF JAPAN's GRANT AID PROCEDURES



Annex-3

Major Undertakings to be taken by Each Government

NO	Items	To be covered by Grant Aid	To be covered by Recipient side
1	To secure land		●
2	To clear, level and reclaim the site when needed		●
3	To construct gates and fences in and around the site when needed		●
4	To construct the parking lot	●	
5	To construct roads		
	1) Within the site	●	
	2) Outside the site		●
6	To construct the building	●	
7	To provide facilities for the distribution of electricity, water supply, drainage and other incidental facilities		
	1) Electricity		
	a. The distribution line to the site		●
	b. The drop wiring and internal wiring within the site	●	
	c. The main circuit breaker and transformer	●	
	2)water Supply		
	a. The city water distribution main to the site		●
	b. The supply system within the site (receiving and/or elevated tanks)	●	
	3) Drainage		
	a. The City drainage main (for storm, sewer and others) to the site		●
	b. The drainage system(for toilet sewer, ordinary waste, storm drainage and others) within the site	●	
	4) Gas Supply		
	a. The city gas main to the site		●
	b. The gas supply system within the site	●	
	5) Telephone system		
	a. the telephone trunk line to the main distribution frame/ panel (MDF) of the building		●
	b. the MDF and the extension after the frame/pannel	●	
	6) Furniture and equipment		
	a. General furniture		●
	b. Project equipment	●	
8	To bear the following commissions to a bank of Japan for the banking services based upon the B/A		
	1) Advising commission of A/P		●
	2) Payment commission		●
9	To ensure prompt unloading and customs clearance at the port of disembarkation in recipient country		
	1) Marine (Air) transportation of the products from Japan to the recipient country	●	
	2) Tax exemption and custom clearance of the products at the port of disembarkation		●
	3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site	(●) *	(●) *

3.M.

10	To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work		●
11	To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contract		●
12	To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid		●
13	To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for the transportation and installation of the equipment		●

(B/A: Banking Arrangement, A/P: Authorization to Pay)
(●) * : To be discussed through further Study.

ПРОТОКОЛ ПЕРЕГОВОРОВ

По изучению базового проектирования (Фаза 2) Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони Хатлонской области Республики Таджикистан

В ответ на запрос Правительства Республики Таджикистан (в дальнейшем именуемой «Таджикистан»), Правительство Японии решило провести изучение базового проектирования Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони Хатлонской области (в дальнейшем именуемой «Проект») и поручило его проведение Японскому агентству международного сотрудничества (в дальнейшем именуемой «JICA»).

JICA направило в Республику Таджикистан Группу изучения базового проектирования (Фаза 2), (в дальнейшем именуемой «Группа»), во главе с г-ном Хироюки КИНОМОТО - Руководителем Отдела развития водных ресурсов и экологии Департамента по управлению безвозмездной помощи JICA. График пребывания Группы в Республике Таджикистан с 20 июня по 24 июля 2007 года.

Группа провела ряд дискуссий с заинтересованными официальными лицами Правительства Республики Таджикистан и обследование на проектных объектах района изучения.

В результате проведенных дискуссий и исследования на месте, обе стороны подтвердили главные пункты, приведенные в приложениях.

Данный Протокол переговоров подписан на английском и на русском языках. В случае возникновения разночтения настоящего Протокола английский текст имеет преимущественную силу.

г. Душанбе, 5 июля 2007 года.

Г-н КИНОМОТО Нироюки
Руководитель Группы изучения
базового проектирования,
Японское Агентство
Международного Сотрудничества
(JICA)

Г-н ЗОКИРОВ Махмадтоир
Председатель Комитета по
чрезвычайным ситуациям и гражданской
обороне при Правительстве Республики
Таджикистан

Г-н САФАРОВ Зафар
Директор Государственного учреждения
«Центр управления Проекта
по обеспечению питьевой водой
населения района Мир Сайид Алии
Хамадони» Республики Таджикистан

ПРИЛОЖЕНИЕ

1. Цель Проекта

Цель Проекта состоит в том, чтобы предоставить населению питьевую воду и обеспечить их здоровье через улучшение состояния объектов водоснабжения в районе проведения Проекта.

2. Место проведения Проекта

Место проведения Проекта - район Мир Сайид Алии Хамадони (в дальнейшем именуемым «Район Хамадони») Хатлонской области.

3. Ответственная и исполнительная организации

3-1) Ответственная организация за реализацию Проекта: Комитет по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороне при Правительстве Республики Таджикистан.

3-2) Исполнительная организация: Государственное учреждение «Центр управления Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони (в дальнейшем именуемый «Центр»).

3-3) Таджикской стороной отмечено, что вышеуказанные ответственные и исполнительные организации утверждены постановлением Правительства Республики Таджикистан № 414, от 31 октября 2005 года.

3-4) Таджикской стороной утвержден Координационный совет с целью беспрепятственного решения вопросов Проекта, поручением Правительства Республики Таджикистан № 38141(15-3), от 5 апреля 2007 года, состав которого состоит из представителей 15 заинтересованных министерств и ведомств Республики Таджикистан.

Настоящий Протокол переговоров согласован (подписями на обороте Протокола) с Отделом экологии и чрезвычайных ситуаций, Отделом экономических реформ и инвестиций, Отделом строительства и архитектуры Исполнительного аппарата Президента Республики Таджикистан, отделом по управлению инвестиционными проектами Департамента государственного бюджета Министерства финансов Республики Таджикистан, Управлением инвестиции Государственного комитета по инвестициям и управления государственным имуществом Республики Таджикистан.

Таджикской стороной разъяснено, что Центр управления Проекта подотчетен и контролируется Правительством Республики Таджикистан, Исполнительным аппаратом Президента Республики Таджикистан, Комитетом по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороны, Министерством финансов и Государственным комитетом по инвестициям и управления государственным имуществом. Комитет по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороны поддерживает деятельность Центра и оказывает содействие в выполнении Проекта.

4. Объем (компоненты) изучения базового проектирования Фазы 2

В результате обсуждений Группы изучения с Таджикской стороной обе стороны согласовали объем изучения базового проектирования Фазы 2 в нижеследующем:

(1) Реабилитация существующих сооружений водоснабжения в районном центре поселка «Москва».

(2) Реабилитация существующих сооружений водоснабжения (уличных колонок общего пользования) в 2 поселках, «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод».

(3) Поставка буровой установки и связанного с ней оборудования

А-49

З.М.

а) Буровая установка на автомобильной шасси (глубина бурения скважины – 100 м): 1 единица;
б) Передвижной воздушный компрессор высокого давления: 1 комплект;
в) Запасные части: 1 комплект;
г) Буровые инструменты и принадлежности: 1 комплект;
д) Оборудование для геофизической съемки: 1 комплект;
е) Автоцистерна для водоснабжения: 1 единица;
ж) Грузовой автомобиль грузоподъемностью не менее 12 тонн с грузоподъемным краном: 1 единица

(4) Обучение персонала для передачи практики бурения

Японская сторона продолжит базовое проектирование для 1) реабилитации объектов водоснабжения в поселке «Москва» и в 2 поселках, «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод» и 2) поставки буровой установки. Таджикская сторона построит объекты водоснабжения в 7 джамоатах своими силами с помощью поставляемого Японской стороной оборудования.

Компоненты, вносимые в Проект, будут тщательно изучены и распределены по их приоритетности во время базового проектирования (Фазы 1 и 2), но это не означает, что все компоненты, запрашиваемые Таджикской стороной, могут быть включены в Проект.

5. Схема Японской безвозмездной помощи

5-1) Таджикская сторона принимает схему Японской безвозмездной помощи, о которой дано разъяснение Группой, как изложено в Приложениях 2 и 3.

5-2) Таджикская сторона предпримет необходимые меры для беспрепятственного осуществления Проекта, что является необходимым условием для осуществления Японской безвозмездной помощи.

6. График изучения

6-1) Члены Группы продолжат исследования в Республике Таджикистан по 24 июля 2007 года.

6-2) JICA подготовит проект отчета на русском языке и направит Группу для разъяснения его содержания в конце октября 2007 года.

6-3) В случае, если содержание отчета по проекту будет одобрено Правительством Республики Таджикистан, JICA подготовит окончательный отчет и направит его Правительству Республики Таджикистан в январе 2008 года.

Обе стороны согласовали, что в случае несвоевременного принятия мер или задержек по выполнению Проекта со стороны Республики Таджикистан, вышеуказанный график изучения может быть уменьшен в объеме работ.

7. Дополнительные важные пункты

7-1) График назначения работников в Центре

Японская сторона просит Таджикскую сторону принять на работу не менее 3 руководителей отделов Центра и представить подтверждающие документы об их назначении Японской стороне до 20 октября 2007 года. Японской стороной также отмечено, что невыполнение данной просьбы может стать серьезным препятствием для утверждения данного Проекта со стороны Правительства Японии.

Таджикской стороной разъяснено, что в соответствии с установленными положениями назначение персонала работников Центра будет осуществлено после обмена Нотами Правительства Японии и Правительства Таджикистана в течении 90 дней.

После обсуждений обеими сторонами данного вопроса, Таджикская сторона

А-50

З.М.

предложила, что после представления Японской стороной окончательного отчета о реализации Проекта Правительству Республики Таджикистан, Таджикской стороной будет представлено ходатайство в Правительство Республики Таджикистан о разрешении назначения не менее 3 руководителей отделов Центра и его соответствующего финансирования в течение 90 дней, до обмена Нотами Правительства Японии и Правительства Таджикистана, т. е., если Японская сторона представит окончательный отчет о реализации Проекта в конце января 2008 года, то Таджикская сторона должна назначить не менее 3 руководителей отделов Центра до конца апреля 2008 года. Таджикской стороной также разъяснено, что персонал Центра будет определен на тендерной основе.

Японской стороной разъяснения Таджикской стороны будут переданы Правительству Японии.

Таджикской стороной обещано представить Японской стороне предполагаемый состав работников бурового оборудования до 20 октября 2007 года.

7-2) Система питьевого водоснабжения

Японская сторона отметила, что большая часть существующих сооружений питьевого водоснабжения в джамоатах представляет собой систему водоснабжения для каждого хозяйства (двора), и поэтому стоимость реабилитации составляет большие финансовые средства, если восстановить объекты по такой схеме.

Таджикской стороной высказано мнение, что система уличного водоснабжения общего пользования с ручными насосами приемлема в джамоатах района, и просит Японскую сторону помочь в поставке оборудования ручных насосов. Поставка ручных насосов Группой изучения в Фазе 2 не поддержано.

Таджикская сторона подготовит план водоснабжения и предполагаемую смету в джамоатах района и представит Японской стороне до 20 октября 2007 года.

7-3) Артезианские скважины, оборудованные ручными насосами

Таджикской стороной разъяснено, что Министерством здравоохранения Республики Таджикистан рассмотрено и письмом № 1-2/705-944 от 21 мая 2007 года дано разрешение на применение ручных насосов в системе питьевого водоснабжения джамоатов, если глубина артезианских скважин составит не менее 50-60 метров.

7-4) Условия для реализации Проекта

Таджикская сторона обязалась предпринять нижеследующие необходимые меры до 20 октября 2007 года, предварительно проведя консультации с Японской стороной:

а) Составить конкретный план, обеспечивающий необходимый состав персонала работников Центра, чтобы осуществить Проект, в т. ч. указать специалистов для эксплуатации бурового оборудования, поставляемого в рамках Проекта, и предоставить Японской стороне план за подписью ответственных организаций. График набора персонала работников также будет представлен.
б) Представить Японской стороне предполагаемый состав специалистов буровой установки до 20 октября 2007 года.
в) Составить пятилетний план строительства объектов водоснабжения в джамоатах района Хамадони после передачи оборудования бурения Таджикской стороне.
г) Предоставить Группе изучения подробную информацию о сроках завершения строительства Сангтудинской ГЭС-1 от соответствующего министерства.
д) Предусмотреть финансовые средства необходимые для вышеупомянутого строительства объектов водоснабжения в джамоатах района Хамадони и представить подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов Республики Таджикистан в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года.

З.М.

е) Сформулировать режим технического обслуживания объектов в рамках Проекта и представить Японской стороне согласованный документ.

ж) Для надлежащего технического обслуживания объектов водоснабжения, которые будут построены в рамках Проекта представить подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов Республики Таджикистан в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года.

з) По предложению Министерства финансов Республики Таджикистан, Таджикская сторона просит Японскую сторону в последующем Протоколе переговоров, в октябре 2007 года указать финансовый план предстоящих расходов, которые будут выделены в рамках Гранта Правительства Японии.

Японская сторона предоставит общую расчетную смету, необходимую для пунктов «д» и «ж» Таджикской стороне до 1 октября 2007 года.

Обе стороны согласовали, что Японская сторона не сможет направить Группу изучения базового проектирования для разъяснения проекта окончательного отчета без выше упомянутых документов, и невыполнение или задержка вышеуказанных мер может привести к задержке осуществления Проекта.

7-5) Необходимые документы, представляемые обеими сторонами

Стороны согласовали документы, представляемые обеими сторонами. Перечень документов прилагается в Приложении 1.

З.М.

Приложение-1: Документы, представляемые обеими сторонами

No	Содержание	Сроки предоставления	Примечание
1	План штата сотрудников Центра	20 октября 2007 г.	Центр представит план с подписями соответствующих органов. Центр должен получить одобрение от Японской стороны
2	План строительства объектов водоснабжения в джамоатах района на период не менее 5 лет	20 октября 2007 г.	Центр представит план и получит одобрение от Японской стороны
3	Предполагаемый состав специалистов Центра для буровой установки	20 октября 2007 г.	Центр представит предполагаемый состав с подписями соответствующих ведомств
4	Строительство Сангтудинской ГЭС-1	20 октября 2007 г.	От соответствующего ведомства с сопроводительным письмом от Центра
5	Предполагаемая сумма бюджета для строительства объектов водоснабжения в джамоатах района с применением ручных насосов	1 октября 2007 г.	Японская сторона представит сметный расчет для выделения бюджета.
6	Готовность бюджетного выделения для строительств объектов водоснабжения в джамоатах района	20 октября 2007 г.	Центр представит подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов, в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года.
7	Предполагаемый бюджет на эксплуатацию и техническое обслуживание объектов водоснабжения в поселке «Москва» и в 2 поселках, «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод»	1 октября 2007 г.	Японская сторона представит сметный расчет для выделения бюджета.
8	Готовность бюджетного выделения на эксплуатацию и техническое обслуживание объектов водоснабжения в поселке «Москва» и в 2 поселках, «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод»	20 октября 2007 г.	Центр представит подтверждающий документ о выделении средств от Министерства финансов, в соответствии с постановлением Правительства Республики Таджикистан № 514 от 2 декабря 2006 года.

А-53

З.М.

ПРИЛОЖЕНИЕ 2. СХЕМА ЯПОНСКОЙ БЕЗВОЗМЕЗДНОЙ ПОМОЩИ

1. Процедуры Японской безвозмездной помощи (Приложение 1)

1) Программа Японской безвозмездной помощи проводится следующими процедурами
Заявка (запрос составляется страной-реципиентом)
Изучение (изучение базового проекта, проводимое «ЯАМС=JICA»)
Экспертиза и утверждение (экспертиза Правительством Японии и утверждение Кабинетом министров)
Решение о реализации (подписание обменных нот между Правительством Японии и Правительством страны-реципиента)

2) Во-первых, заявка на проект по безвозмездной помощи, представленной страной-реципиентом, рассматривается Правительством Японии (Министерством иностранных дел) с целью выяснения: подходит ли проект к безвозмездной помощи. Если заявка считается подходящей, то Правительство Японии поручает JICA (Японское Агентство Международного Сотрудничества) провести изучение по этому запросу.
Во-вторых, JICA проводит изучение (изучение базового проекта) с помощью Японских консалтинговых фирм.
В-третьих, на основе отчета об изучении базового проекта, составленного JICA, Правительство Японии оценивает Проект с точки зрения, соответствует ли Проект требованиям Японской Программы безвозмездной помощи. Результаты оценки представляются в Кабинет министров на утверждение.
В-четвертых, после утверждения Кабинетом министров, данный Проект приобретает официальный статус, когда подписываются Обменные ноты («О/Н») Правительствами Японии и страны-реципиента.
В конечном итоге, для успешного выполнения Проекта, JICA оказывает содействие стране-реципиенту в подготовке тендера, заключении контрактов и т.д.

2. Изучение базового проекта

1) Содержание изучения:
Цели изучения базового проекта, которое проводит JICA по запрошенному проекту (далее именуемое как «изучение»), заключаются в том, чтобы подготовить базовой документ, необходимый для экспертизы запрошенного проекта (далее именуемый «Проект») в Правительстве Японии.
В сферу изучения включаются следующие работы:

а) Подтверждение условий Проекта, целей и предполагаемой выгоды от Проекта, а также выяснение организационной готовности заинтересованных органов и ведомств в стране-реципиенте, необходимой для реализации Проекта;
б) Оценка целесообразности и соответствия Проекта принципам безвозмездной помощи с технической и социально-экономической точек зрения;
в) Подтверждение позиций базовой концепции, по которым была достигнута обоюдная договоренность;
г) Подготовка и разработка базовой проектной документации;
д) Определение сметной стоимости Проекта.

Совершенно не обязательно, чтобы содержание первоначальной заявки Правительства страны-реципиента было одобрено и включено в Проект в своей исходной форме. Базовое проектирование Проекта утверждается на основе положений и принципов Японской Программы безвозмездной помощи.
Правительство Японии требует от Правительства страны-реципиента предпринять меры, необходимые для обеспечения самостоятельных усилий при осуществлении Проекта. Такие меры должны быть гарантированы даже в случае, когда они находятся вне компетенции организации в стране-реципиенте, исполняющей Проект.

З.М.

Следовательно, осуществление Проекта должно быть согласованно всеми заинтересованными организациями страны-реципиента на основе Протокола переговоров.

2) Выбор консультантов

В целях беспрепятственного проведения изучения JICA привлекает к этой работе консалтинговую фирму, избранную по своим процедурам (на основе тендерных условий).

Победившая фирма проводит изучение в установленных JICA рамках.

В начале выполнения после подписания Обменных нот, JICA рекомендует стране-реципиенту, чтобы консалтинговая фирма, участвовавшая в изучении работала и на период для рабочего проекта и шефмонтажа на строительстве. Это делается во избежание отставания в случае, если новая фирма будет подключена к выполнению Проекта.

3. Схема Японской безвозмездной помощи

1) Что такое безвозмездная помощь?

В соответствии с положениями Японского законодательства Программа безвозмездной помощи предоставляет стране-реципиенту не возвращаемые фонды для закупки технических средств, оборудования и услуг (проектно-технические услуги, транспортировка и т.п.) для целей экономического развития данной страны. Безвозмездная помощь не предусматривает поставку товаров в виде подарков или денежных пожертвований.

2) Обмен нотами (О/Н)

Безвозмездная помощь предоставляется в соответствии с Нотами, которыми обменялись два правительства. В этих документах определяются цели Проекта, срок выполнения, условия и объем помощи и прочие.

3) «Период действия безвозмездной помощи» означает тот финансовый год Японии, на который Кабинет министров утверждает Проект для реализации. В течение этого финансового года должны быть завершены все процедуры: подписание Обменных нот, заключение контрактов с консалтинговыми фирмами и подрядчиками, и вся оплата должна быть произведена окончательно.

Однако в случае задержек с поставками, строительством или монтажом из-за непредвиденных обстоятельств таких, как стихийные бедствия, период действия безвозмездной помощи может быть продлен еще максимум на один финансовый год по взаимному соглашению между двумя правительствами.

4) В рамках программы безвозмездной помощи, как правило, японские товары и услуги, и в т. ч. и транспортные или товары (услуги) страны-реципиента должны быть закуплены. Если оба правительства решат, что это необходимо, то безвозмездные средства могут быть использованы для закупок товаров или услуг в третьих странах.

Однако, генподрядчиками, а именно, консалтинговыми, строительно-монтажными и поставщиками, могут быть только «Японские лица» (этот термин – «Японские лица» – означает лиц с японским гражданством или компании, которые контролируются лицами с японским гражданством).

5) Необходимость «контроля»

Правительство страны-реципиента или уполномоченный им орган заключает контракты в японской валюте с японскими лицами. Эти контракты подлежат контролю со стороны Японского Правительства. Такой «контроль», или верификация, считается необходимой, чтобы исполнить подотчетность перед японскими налогоплательщиками.

6) Необходимые обязательства страны-реципиента:

а) Предоставить строительные площадки под объекты по Проекту, а также благоустроить

ВС сидрсуз

А-55

З.М.

площадки под строительство;

б) Обеспечить площадки электроэнергией, водоснабжением, канализацией и другими вспомогательными сооружениями и устройствами;

в) Гарантировать оперативную разгрузку, таможенную очистку в портах назначения в стране-реципиенте и транспортировки внутри страны для перевозок материалов и оборудования, закупленных в рамках Программы безвозмездной помощи;

г) Освободить Японских лиц от таможенных пошлин, внутренних налогов и налоговых сборов, налагаемых в стране-реципиенте в отношении товаров и услуг по утвержденным контрактам;

д) Обеспечить Японских лиц, чьи услуги могут быть востребованы в связи с поставкой товаров и услуг по утвержденным контрактам, такими льготами, которые могут быть необходимыми для их въезда в страну-реципиент и пребывания в ней для осуществления их работы;

е) Заверить, что построенные объекты и закупленные товары в рамках безвозмездной помощи будут сохраняться и эксплуатироваться эффективно и в соответствии с Проектом;

ж) Обеспечить все расходы, необходимые для Проекта, не покрываемые безвозмездными средствами.

7) «Надлежащее использование»
От страны-реципиента требуется, чтобы построенные сооружения и оборудование, закупленное в рамках безвозмездной помощи, эффективно использовались и содержались как следует, для чего должен быть назначен персонал по эксплуатации и обслуживанию. Также от страны-реципиента требуется нести все расходы, не покрываемые средствами гранта.

8) «Реэкспорт»
Товары, закупленные в рамках безвозмездной помощи, не могут быть реэкспортированы из страны-реципиента.

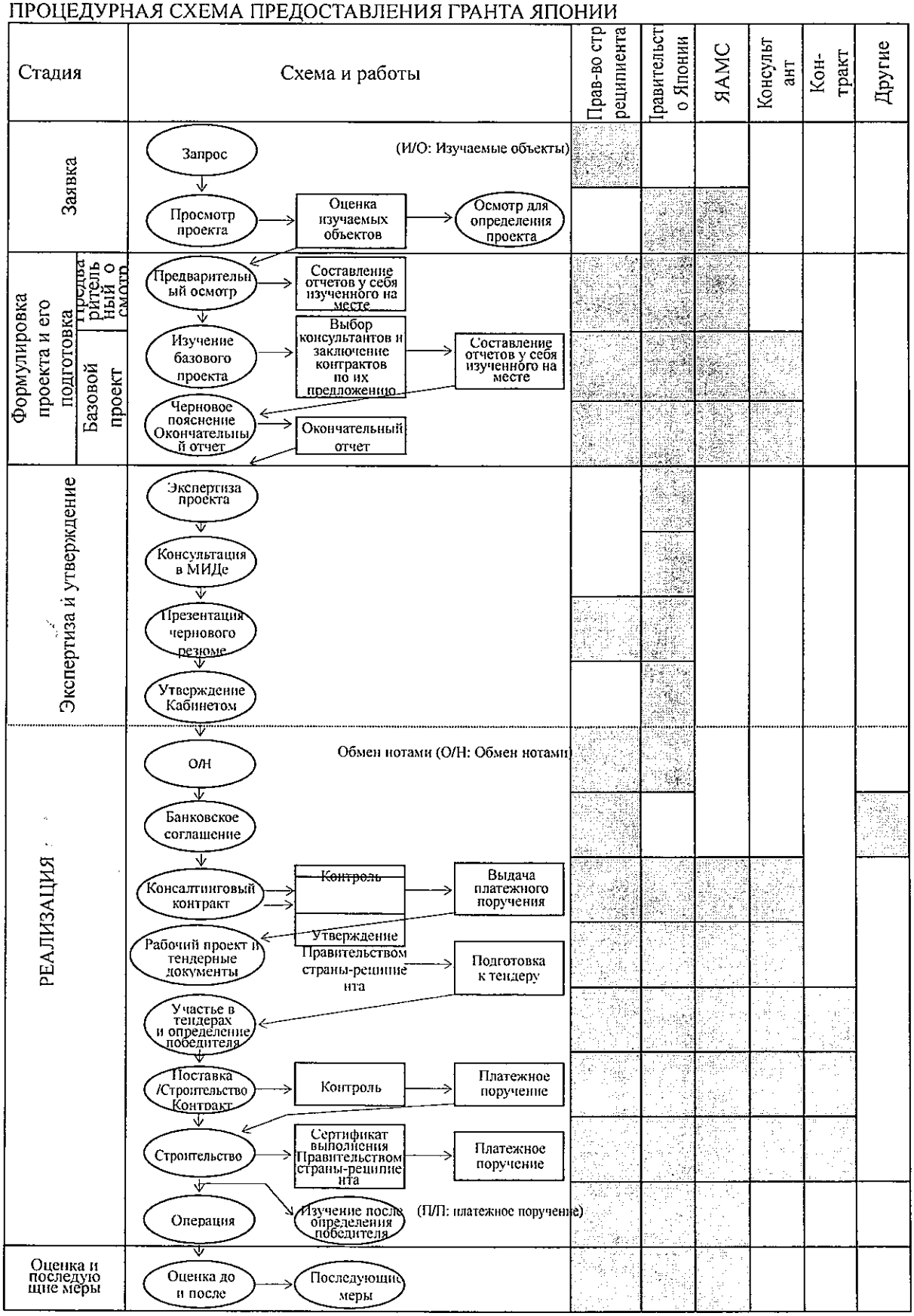
9) Банковское соглашение (Б/С)

а) Правительство страны-реципиента или его уполномоченный орган должен открыть банковский счет на имя Правительства страны-реципиента в Японском банке, имеющем право на обмен иностранными валютами (далее именуемый «Банк»). Правительство Японии будет осуществлять безвозмездную помощь путем перечисления на этот счет сумм в японских иенах для покрытия обязательств, которые несет на себя Правительство страны-реципиента или его уполномоченный орган по контрактам, прошедшим контроль;

б) Оплата будет производиться при представлении Банком платежного требования Японскому Правительству, на основе платежного поручения (П/П), выданного Правительством страны-реципиента или его уполномоченным органом.

З.М.

ПРОЦЕДУРНАЯ СХЕМА ПРЕДОСТАВЛЕНИЯ ГРАНТА ЯПОНИИ



Приложение 3

Основные меры, предпринимаемые каждым правительством

N:	Позиции	Покрывается безвозмездной помощью	Покрывается стороной-реципиентом
1	Обеспечить участки земли		●
2	Убрать, выравнивать, освоить площадки, если необходимо		●
3	Обеспечить проходной и забор на входе и вокруг площадок		●
4	Обеспечить автостоянки	●	
5	Обеспечить дороги		
	1) внутри площадок	●	
	2) вне площадок		●
6	Построить здание	●	
7	Обеспечить электроэнергию, водоснабжение, канализацию и вспомогательные устройства		
	1) Электричество		
	а. Распределительная линия до объектов		●
	б. Вводная и межобъектная прокладка кабелей	●	
	в. Главный автомат и трансформатор	●	
	2) Водоснабжения		
	а. Городской магистральный водовод до объекта		●
	б. Система водоснабжения внутри площадки (резервуар и/или	●	
	3) Дренаж		
	а. Городской магистральный дренаж (для проливного дождя, канализации и др.) до объекта		●
	б. Дренажная система (для фекальных, сточных вод, проливного дождя и др.) внутри площадки	●	
	4) Газоснабжение		
	а. Магистраль городского газа до объекта		●
	б. Система газоснабжения внутри площадок	●	
	5) Телефонная связь		
	а. Магистральная телефонная линия до главного коммутационного щита здания		●
	б. Главный коммутационный щит и удлинение за щитом	●	
	6) Мебель и оборудование		
	а. Общая мебель		●
	б. Оборудование для проекта	●	
8	Оплата ниже перечисленных комиссионных банку Японии за банковские услуги на основе Б/С		
	1) Комиссия за авизо П/П		●
	2) Платежная комиссия		●
9	Обеспечить оперативную разгрузку и таможенную очистку в порту назначения страны-реципиента		
	1) Морские (воздушные) перевозки товаров из Японии до страны-реципиента	●	
	2) Налоговые льготы и таможенная очистка товаров в порту назначения		●
	3) Внутренние перевозки от порта разгрузки до объекта проекта	(●) *	(●) *

З.М.

10	Обеспечить японских лиц, чьи услуги могут быть востребованы в связи с поставкой товаров и услуг по утвержденным контрактам, такими льготами, которые могут быть необходимыми для их въезда в страну-реципиент и пребывания в ней для осуществления их работы		●
11	Освободить японских лиц от таможенных пошлин, внутренних налогов и налоговых сборов, налагаемых в стране-реципиенте в отношении товаров и услуг по утвержденным контрактам		●
12	Сохранить и эксплуатировать построенные сооружения и предоставленное оборудование в рамках безвозмездной помощи эффективно и целесообразно		●
13	Обеспечить все расходы, необходимые для перевозки оборудования и его установки на месте, не покрываемые безвозмездными средствами		●

(Б/С : Банковское соглашение, П/П: Платежное поручение)
(●) * : должно быть обсуждено в дальнейшем изучении

З.М.

MINUTES OF DISCUSSIONS
on
The Basic Design Study on
The Project for the Provision of Drinking Water for the Population of Mir Saiid Alii Khamadoni District of Khatron Region in the Republic of Tajikistan
(Explanation of Draft Final Report)

In April and May 2007, June and July 2007, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") dispatched the Basic Design Study Team on the Project for the Provision of Drinking Water for the population of Mir SAiid Alii Khamadoni District of Khatron Region in the Republic of Tajikistan (hereinafter referred to as "the Project") to the Republic of Tajikistan (hereinafter referred to as "Tajikistan"), and through discussion, field survey, and technical examination of the results of the survey in Japan, JICA prepared a draft final report of the Basic Design study.

In order to explain and to consult with the Government of Tajikistan on the components of the draft final report, JICA sent to Tajikistan the Draft Final Report Explanation Team (hereinafter referred to as "the Team"), which is headed by Mr. Satoru HAGIWARA, Group Director, Project Management GroupⅢ, Grant Aid Management Dept., JICA, from October 31 to November 9, 2007.

As a result of discussions, both parties confirmed the main items described on the attached sheets.

This Minutes of Discussions is signed in both English and Russian in condition that the English version is treated as an official one.

Dushanbe, November 8, 2007

萩原知

Mr.Satoru Hagiwara
Leader
Basic Design Study Team
Japan International Cooperation Agency
(JICA)

Mr.Mahmadtohir Zokirov
Chairman,
Committee of Emergency Situations and Civil Defence under the Government of the Republic of Tajikistan, the Republic of Tajikistan

Mr.Zafar Safarov
Director
The State Agency "Center for management of the project on supplying of potable water to population of Mir Saiid Alii Khamadoni District", The Republic of Tajikistan

ATTACHMENT

1. Components of the Draft Final Report

The Tajikistan side agreed and accepted in principle the components of the draft final report explained by the Team.

2. Japan's Grant Aid scheme

The Tajikistan side understood the Japan's Grant Aid Scheme and the necessary measures to be taken by the Tajikistan side as explained by the Team and described in Annex-2 of the Minutes of Discussions signed by both parties on July 5, 2007.

3. Responsible and Implementing Agency

3-1) The Responsible Agency is the Committee of Emergency Situations and Civil Defense under the Government of the Republic of Tajikistan (hereinafter referred to as "CoES").

3-2) The Implementing Agency is the State Agency "Center for management of the project on supplying of potable water to population of Mir Saiid Alii Hamadoni District" (hereinafter referred to as "the Center").

3-3) The Tajikistan side explained that the above-mentioned Responsible and Implementing Agencies were approved by the regulation of the Government No.414 issued on 31 October 2005.

3-4) The Tajikistan side assigned the Coordination Committee for the Project by the regulation of the Government No.38141 (15-3) issued on 5 April 2007 for smooth implementation of the Project. The Coordination Committee consists of fifteen related Governmental Agencies.

This Minutes of Discussions was approved by the endorsements of the following Directors: Ecology and Emergency Situation Department, Economic Reforms and Investments Department, Construction and Architecture Department of the Executive Presidential Office of the Republic of Tajikistan.

The Investment Project Management Department of the Division of the State Budget of the Ministry of Finance of the Republic of Tajikistan, and the Investment Management Division of the State Committee on Investments and state property management of the Republic of Tajikistan signed this attachment as the token of approval.

The Tajikistan side explained that the Center is accountable to and supervised by the Government of the Republic Tajikistan, the Executive Presidential Office, CoES, Ministry of Finance and the State Committee on the Investments and State Property Management.

The Committee of Emergency Situation and Civil Defense in its turn supports the activity of the Center and provides the necessary assistance in the Project Implementation

4. Schedule of the Study

JICA will complete the final report in accordance with the confirmed items and send it to the Government of Tajikistan by the end of January 2008.

5. Other Relevant Issues

5-1) Project Cost Estimation

The Japanese side explained to the Tajikistan side the project cost estimation as attached in Annex -1. Both sides confirmed that this cost estimation is provisional and will be examined further by the Government of Japan for its approval as the Grant.

Furthermore, both sides agreed that this project cost estimation should never be duplicated nor released to any other parties until conclusion of signing of all the Contracts for the Project between the Center and Japanese contractors because disclosure of the information will affect fairness of tender procedure when the project proceeds to actual implementation stage.

5-2) Draft detailed specification of the Equipment to be procured under the Project

The team handed one copy of the draft specification of the equipment to be procured under the Project to the Tajikistan side. Both sides agreed that the draft specification is confidential and should not be duplicated or released to any other parties.

5-3) Plan for securing personnel of the Center

The Tajikistan side committed to employ not less than 3 division directors of the Center within 90 days after the Government of Tajikistan receives final report of the Project and E/N for the detailed design study on the Project is signed between the Government of Japan and the Government of Tajikistan.

With regard to remaining staff of the Center, the Tajikistan side also committed to employ seventeen (17) personnel by the end of July 2009 at the latest.

5-4) Candidate list of engineers and members of drilling team of the Center

The Tajikistan side submitted a list of technical background and career of two candidates for hydro-geologists and committed to submit the list of candidates for members of the drilling team of the Center to the Japanese side by the end of December 2008.

The Tajikistan side also explained that the drilling team members would be engaged in Initial training and On the Job Training on well drilling technique to be conducted by the Japanese contractors.

5-5) Plan for construction of water supply facilities in Jamoats

The Tajikistan side explained construction plan of water supply facilities in Jamoats during 2011-2015 as mentioned in Annex-2.

The Tajikistan side committed to construct four wells every year during 2011-2015 utilizing drilling equipment to be procured under the Project.

The Tajikistan side also explained that they got approval of the Ministry of Finance regarding necessary cost for the said construction plan.

The Tajikistan side presented the cost estimation of 5-year-drilling works as mentioned in Annex-3.

5-6) Budget arrangement for operation and maintenance of the water supply facilities in Moskovski Center and two villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat

The Tajikistan side explained that they got approval of the Ministry of Finance regarding estimated necessary cost for operation and maintenance of the water supply facilities in Moskovski Center and two villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat as mentioned in Annex-4.

5-7) Organizational Structure of Vodokanal of Khamadoni District

Though the Japanese side proposed the number of staff of Khamadoni Vodokanal would be thirty two (32), the Tajikistan side explained the Khamadoni Vodokanal would employ forty nine (49) staff based on the volume of duties and committed to secure additional cost.

5-8) Undertakings of the Tajikistan side

Both sides confirmed undertakings of the Tajikistan side regarding construction of water supply facilities in Moskovski Center and two villages of "Gulobod" and "Navabod" in Mekhnatobod Jamoat

a) Construction of fences which surround the construction sites
b) Construction of power lines at Kenja Abdul site and application for additional electric power supply for the sites of water intake
c) Repair and development of storage, parking and maintenance yard for well drilling machine and supporting equipment
d) Laying water connection pipe to the houses of consumers and fixing water valve on the outlet of house connection pipes
e) Repair for leakage of the existing pipeline
f) Commissions to a bank of Japan for the Banking Arrangement

The Japanese side explained the estimated cost for implementation of above-mentioned undertakings of the Tajikistan side would be approximately Six Hundred Sixty Four Thousand Five Hundred (664,500) somoni (193,300 USD).

The Tajikistan side explained that they would recalculate the cost for above-mentioned undertakings by themselves and secure necessary cost for the works.

In addition to the above mentioned costs, the Tajikistan side explained that the Government of Tajikistan would bear necessary expenses such as the Center

Administration, expertise of the design for the Project, application for various licenses (including licenses for Japanese contractors), environment preservation, land use taxes, 5-year construction works (2011-2015) in Khamadoni district and operation and maintenance of the water supply facilities in Moskovski Center and two villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat.

5-9) Securing lands at Moskovski Center and two villages of "Gulobod" and "Navobod"

The Tajikistan side explained that they had already taken the necessary procedure for securing the lands and would submit an evidential document of land secure to JICA Tajikistan Office by the end of February 2008 at the latest.

5-10) Management and proper use of pipeline installation and maintenance machinery

The Tajikistan side explained that the Khamadoni Vodokanal and State Unitary Enterprise "Khojagii manziliyu-kommunali" take the responsibility for maintenance and management of the installation and maintenance machinery to be procured under the Project and those agencies would provide warehouse and workshop for maintenance of the machinery on the premises of the Khamadoni Vodokanal.

5-11) Use of drilling equipment to be procured under the Project

The Tajikistan side committed to let the Japanese contractor use drilling equipment to be procured under the Project without any charges.

Both sides agreed that the Japanese contractor shall bear all the cost required for operating the equipment including fuel, maintenance and repair cost during construction period by the Japanese contractor.

5-12) Periodical report to JICA office on progress of drilling activities of the Center

The Tajikistan side committed that the Center would submit periodical reports on plan and progress of drilling project to be implemented by the Tajikistan side to JICA Tajikistan Office every six months, from 2011 to 2015.

5-13) Soft Component Program

Both side found the necessity of technical assistance program so-called "Soft Component Program" in the Project and confirmed the contents of Soft Component Program as follows;

- Capacity enhancement of Khamadoni Vodokanal for operation and management skill of water supply facilities
- Capacity enhancement of the Center for geophysical prospecting technique

The Tajikistan side committed to deploy counterpart personnel to implement the Soft Component Program. Both sides agreed that the actual number of participants for Soft Component Program would be confirmed after July 2009.

The Japanese side explained to bear the cost only for dispatching Japanese specialists to Tajikistan and their activities on the Soft Component Program.

The Tajikistan side explained that they would manage the activities of the Tajikistan side on the Soft Component Program on the basis of the internal regulations of Tajikistan.

5-14) Fixing water valves on house connection outlet and community enlightenment

The Tajikistan side promised to fix 1,575 water valves on outlets of house connection pipes in Moskovski Center before completion of construction of water supply facilities of Moskovski Center by the Japanese side.

The Tajikistan side also committed to conduct activities for community enlightenment with regard to necessity of water saving after Soft Component Program provided by Japanese consultants.

5-15) Expertise of the Design for the Project

The Tajikistan side explained that the design of the Project needed expertise to be done by concerning national authorities and the Japanese side should submit the design and related document for expertise process.

The Tajikistan side explained that the procedure would be completed as soon as possible.

5-16) Language of the Tender Documents

The Japanese side explained that the tender documents should be written in English so that Japanese contractors could understand correctly the contents of the tender document and participate in the tender.

The Tajikistan side agreed it and requested the Japanese side to send the translation of the tender documents written in Russian to the Tajikistan side before tender opening.

5-17) Environmental Impacts Assessment (EIA)

The Tajikistan side explained that the Project doesn't need EIA process since the Project did not apply to the "Category 1 (Category A)" in environmental assessment guidelines of Tajikistan.

The Tajikistan side also submitted to the Japanese side a copy of a letter issued by the Environment Management Department which contains above mentioned matter and their intention to support the Project.

Confidential

Annex-1: Project cost estimation

Total Project Cost Estimation (including cost borne by the Japanese side and the Tajikistan side)

Approx. 1,029.2 million JPY (Approx. 8.495 million US $)

A. Cost borne by the Japanese Government

(million JPY)

Work Item		Approx. Estimated Project Cost	
Water Supply Facilities	Well Drilling, Installation of Pumps, Chlorination device, Erection of Elevated tanks (newly, renewed), Control houses, Chlorination houses, Laying pipelines, Installation electric facilities (newly, renewed)	598.2	878.4
Equipment	Equipment for well drilling, Equipment for pipeline maintenance	280.2	
Detail design, Construction supervision, Technical instruction			127.4
Total			1,005.8 (US$ 8.302 million)

B. Estimated Costs borne by the Government of Tajikistan (prepared by the Japanese side)

Work Item	Estimated Cost (somoni)
• Construction of fences which surround the construction sites	129,300
• Construction of power lines at Kenja Abdul site and application for additional electric power supply for the sites of water intake	47,200
• Repair and development of storage and maintenance yard for well drilling machine and supporting equipment	247,000
• Laying water connection pipe to the houses of consumers and fixing water valve on the outlet of house connection pipes	210,000
• Repair for leakage of the existing pipeline	2,000
• Commissions to a Bank of Japan fort the Banking Arrangement	29,000
Total	664,500 (US$ 0.193 million)

*Note:

In addition to the above mentioned costs, the Tajikistan side explained that the Government of Tajikistan would bear necessary expenses such as the Center Administration, expertise of the design for the Project, application for various licenses (including licenses for Japanese contractors), environment preservation, land use taxes, 5-year construction works (2011-2015) in Khamadoni district and operation and maintenance of the water supply facilities in Moskovski Center and two villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat.

Annex-2: Plan of the Tajikistan side for construction of water supply facilities in Jamoats of Khamadoni District

Jamoats	Period of construction, drilling and rehabilitation of water supply facilities and water wells					
	2011	2012	2013	2014	2015	2011–2015
"Kakhramon"	3	-	-	-	-	3
"Mekhnatobod"	1	-	-	-	-	1
"Dashti Gulo"	-	3	-	-	-	3
"Kalinin"	-	-	-	3	-	3
"Turdiev"	-	-	3	-	-	3
"Pandjob"	-	-	1	-	-	1
"Chubek"	-	1	-	1	4	6
Total:	4	4	4	4	4	20

Annex-3: Estimated Cost of the Tajikistan side for construction of water supply facilities in Jamoats of Khamadoni District

(Thousand somoni)

Component of expected work	Period of Project Implementation					
	2011	2012	2013	2014	2015	2011-2015
Rehabilitation of water supply facilities (construction, drilling, rehabilitation of water well)	334.0	334.0	334.0	334.0	334.0	1,670.0

Annex-4: Estimated Cost for operation and maintenance of the water supply facilities in Moskovski Center and two villages of "Gulobod" and "Navobod" in Mekhnatobod Jamoat

(Thousand somoni)

Component	Year					
	2011	2012	2013	2014	2015	2011-2015
Subsidy for management and operation of water supply facilities	31.9	18.7	18.7	5.6	5.6	80.5

З. М.

ПРОТОКОЛ ПЕРЕГОВОРОВ

По изучению базового проектирования Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони Хатлонской области Республики Таджикистан
(Пояснение проекта окончательного отчета)

В апреле и мае, а также в июне и июле 2007 года Японское агентство международного сотрудничества (в дальнейшем именуемое «JICA») направило в Республику Таджикистан (в дальнейшем именуемый Таджикистан) Группу изучения базового проектирования для изучения Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони Хатлонской области Республики Таджикистан (в дальнейшем именуемого «Проект»). Проведены были дискуссии и исследование на месте и технический осмотр результатов изучения рассмотрено в Японии, и JICA подготовило проект окончательного отчета.

Для того чтобы дать пояснение и консультироваться с Правительством Республики Таджикистан о компонентах проекта окончательного отчета, JICA направило в Республику Таджикистан пояснительную Группу проекта окончательного отчета (в дальнейшем именуемую «Группа»), во главе с г-ном Сатору ХАГИВАРА, директором третьей проектной группы департамента по управлению безвозмездной помощи JICA, с 31 октября по 9 ноября 2007 года.

В результате проведенных дискуссий, обе стороны подтвердили главные пункты, приведенные в приложениях.

Данный Протокол переговоров подписан на английском и на русском языках. В случае возникновения разночтения настоящего Протокола английский текст имеет преимущественную силу.

г. Душанбе, 8 ноября 2007 года.

Г-н ХАГИВАРА Сатору
Руководитель Группы изучения базового проектирования,
Японское Агентство Международного Сотрудничества (JICA)

Г-н ЗОКИРОВ Махмадтоир
Председатель Комитета по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороне при Правительстве Республики Таджикистан

Г-н САФАРОВ Зафар
Директор Государственного учреждения «Центр управления Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони», Республика Таджикистан

ПРИЛОЖЕНИЕ

1. **Компоненты проекта окончательного отчета**

Таджикская сторона согласилась и приняла, в принципе, компоненты проекта окончательного отчета, поясненные Группой.

2. **Схема Японской безвозмездной помощи**

Таджикская сторона принимает схему Японской безвозмездной помощи и необходимость принять меры, о которых дано разъяснение Группой в соответствии с изложением в Приложении-2 к Протоколу переговоров, подписанному обеими сторонами.

3. **Ответственная и исполнительная организации**

3-1) Ответственная организация за реализацию Проекта: Комитет по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороне при Правительстве Республики Таджикистан (в дальнейшем именуемый «КЧС»).

3-2) Исполнительная организация: Государственное учреждение «Центр управления Проекта по обеспечению питьевой водой населения района Мир Сайид Алии Хамадони» (в дальнейшем именуемый «Центр»).

3-3) Таджикской стороной отмечено, что вышеуказанные ответственная и исполнительная организации утверждены постановлением Правительства Республики Таджикистан № 414, от 31 октября 2005 года.

3-4) Таджикской стороной утвержден Координационный совет с целью беспрепятственного решения вопросов Проекта, поручением Правительства Республики Таджикистан № 38141(15-3), от 5 апреля 2007 года, состав которого состоит из представителей 15 заинтересованных министерств и ведомств Республики Таджикистан.

Настоящий Протокол переговоров согласован (подписями на обороте Протокола) с Отделом экологии и чрезвычайных ситуаций, Отделом экономических реформ и инвестиций, Отделом строительства и архитектуры Исполнительного аппарата Президента Республики Таджикистан, отделом по управлению инвестиционными проектами Департамента государственного бюджета Министерства финансов Республики Таджикистан, Управлением инвестиции Государственного комитета по инвестициям и управления государственным имуществом Республики Таджикистан.

Таджикской стороной разъяснено, что Центр управления Проекта подотчетен и контролируется Правительством Республики Таджикистан, Исполнительным аппаратом Президента Республики Таджикистан, Комитетом по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороны, Министерством финансов и Государственным комитетом по инвестициям и управления государственным имуществом. Комитет по чрезвычайным ситуациям и гражданской обороны поддерживает деятельность Центра и оказывает содействие в выполнении Проекта.

4. **График изучения**

JICA подготовит окончательный отчет в соответствии с подтвержденными пунктами компонентов, и отправит его Правительству Республики Таджикистан до конца января 2008 года.

З.М.

5. Прочие вопросы связанные с Проектом

5-1) Предварительный подсчет стоимости Проекта

Японская сторона разъяснила Таджикской стороне предварительный подсчет стоимости Проекта, как указано в Приложении-1. Обе стороны подтвердили, что данный подсчет предварительный и будет рассматриваться Правительством Японии на утверждение в порядке Гранта.

Кроме того, обе стороны согласились, что предварительный подсчет стоимости Проекта не должен быть скопирован или передан в другие третьи лица до подписания всех контрактов по Проекту между Центром управления Проекта и Японскими подрядчиками потому что, разглашение информации будет влиять на справедливость тендерных процедур, когда Проект подходит к стадии действительного осуществления.

5-2) Проект спецификации оборудования поставляемого в рамках Проекта

Группой изучения передана копия проекта спецификации оборудования поставляемого в рамках Проекта Таджикской стороне. Обе стороны согласились, что проект спецификации оборудования конфиденциальный и не должен быть скопирован или передан в другие третьи лица.

5-3) План обеспечения персонала Центра

Таджикская сторона обязалась принять на работу не менее 3 руководителей отделов Центра в течение 90 дней после получения Таджикской стороной окончательного отчета и подписания обмена нотами для изучения рабочего проекта по Проекту между Правительствами Японии и Республикой Таджикистан.

По остальным сотрудникам Центра Таджикская сторона также обязалась по мере необходимости принять семнадцать (17) работников на работу до конца июля 2009 года.

5-4) Состав буровых работников Центра

Таджикская сторона представила данные двух (2) предполагаемых кандидатур инженеров-гидрогеологов, и обязалась представить Японской стороне остальных предполагаемых членов буровых бригад Центра до декабря 2008 года.

Таджикской стороной разъяснено, что члены буровых бригад будут участвовать в обучении по первоначальному пуску оборудования, а также в программе обучения на практике, осуществляемой Японскими подрядчиками.

5-5) План строительства объектов водоснабжения в джамоатах

Таджикской стороной разъяснен план строительства объектов водоснабжения в джамоатах в течение 5 лет, с 2011 по 2015 гг., как указано в Приложении-2.

Таджикская сторона обязалась построить ежегодно четыре скважины в течение 5 лет, с 2011 по 2015 гг., с помощью бурового оборудования поставляемого в рамках Проекта.

Таджикской стороной также разъяснено, что получено одобрение Министерства финансов о необходимых затратах на вышеупомянутое строительство.

З.М.

Таджикской стороной представлен предварительный расчет стоимости буровых работ по пятилетнему плану, как указано в Приложении-3.

5-6) Согласованность о бюджетном выделении Водоканалу для эксплуатации и технического обслуживания объектов водоснабжения поселка «Москва», поселков «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод»

Таджикской стороной разъяснено, что получено одобрение Министерства финансов о предварительных необходимых затратах на эксплуатацию и техническое обслуживание объектов водоснабжения поселка «Москва», поселков «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод», как указано в Приложении-4.

5-7) Структура Водоканала района Хамадони

Японская сторона предложила численность работников Водоканала района Хамадони – тридцать два(32), а Таджикской стороной разъяснено, что в соответствии с предстоящим объемом работ Водоканал Хамадони примет на работу до сорока девяти (49) работников, и обязуется обеспечить их содержание и дополнительные затраты за счет хозрасчетной деятельности Водоканала.

5-8) Обязательства Таджикской стороны

Обе стороны подтвердили обязательства Таджикской стороны, связанные с строительством объектов водоснабжения поселка «Москва», поселков «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод» в нижеследующем:

а) Ограждение забором территории объектов;
б) Ввод ЛЭП до объекта Кенджа Абдул и получение разрешения на увеличение мощности потребления электроэнергии водозаборов;
в) Обеспечение базы для парковки и технического обслуживания бурового оборудования и техники;
г) Монтаж подключения водопроводных труб до домов водопользователей с установкой вентилей на трубах;
д) Устранение утечек на существующих трубопроводах;
е) Оплата комиссионных расходов Японскому банку за банковские услуги.

Японской стороной разъяснено, что подсчет затрат на выполнение вышеупомянутых работ, предстоящих выполнению Таджикской стороной приблизительно составляет 664 500 (шестьсот шестидесяти четыре тысячи пятьсот) сомони или 193 тысячи долларов США.

Таджикской стороной разъяснено, что вышеупомянутые затраты и работы будут дополнительно пересчитаны Таджикской стороной и обеспечены финансовыми средствами.

Таджикской стороной также разъяснено, что содержание Центра управления Проекта, расходы на экспертизу проектных работ, получение лицензий (также для

З.М.

А-74

Японских подрядчиков), экологические затраты и налоги землепользования, выделение средств на строительство объектов водоснабжения в джамоатах района Хамадони и бюджетное выделение Водоканалу для эксплуатации и технического обслуживания объектов водоснабжения поселка «Москва», поселков «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод» в 2011–2015 гг. будут осуществляться за счет вклада Правительства Республики Таджикистан.

5-9) Отвод участков земли в поселке «Москва» и поселках «Гулобод» и «Навобод»

Таджикской стороной разъяснено, что по отводу земельных участков уже приняты необходимые меры. Документ о решении данного вопроса будет представлен в Представительство JICA в Республике Таджикистан не позднее конца февраля 2008 года.

5-10) Содержание, использование техники и оборудование для технического обслуживания и ремонта трубопроводов Водоканала

Таджикской стороной разъяснено, что содержание и техническое обслуживание техники и механизма, поставляемые в рамках Проекта, будет возложено на Водоканал и ГУП «Хочагии манзилию коммунали», и этими организациями на территории Водоканала будут созданы необходимые условия для их парковки, ремонта и технического обслуживания.

5-11) Использование бурового оборудования поставляемого в рамках Проекта

Таджикской стороной разъяснено, что буровое оборудование, поставляемое в рамках Проекта, будет передано на временное использование Японскому подрядчику без взимания платы за эксплуатацию.

Обе стороны согласились, что Японский подрядчик должен обеспечить все расходы, необходимые для работы оборудования в т. ч. и затраты на ГСМ, ремонт и техническое обслуживание в период строительства, выполняемого Японским подрядчиком.

5-12) Периодические отчеты в Представительство JICA в Республике Таджикистан о выполненных работах Центра

Центром управления Проекта будут представляться периодические отчеты о плане и прогрессе буровых работ в Представительство JICA в Республике Таджикистан каждые шесть месяцев, в период с 2011 по 2015 гг.

5-13) Учебно-консультативное сопровождение

Обе стороны рассматривают необходимость программы технической помощи в форме учебно-консультативного сопровождения в ходе Проекта, и подтверждают его содержание в следующем:

- Обучение персонала Водоканала в улучшении деятельности по эксплуатации и содержанию объектов водоснабжения;

З. М.

А-75

- Обучение персонала Центра управления Проекта в улучшении деятельности по геофизической разведке.

Таджикская сторона обязалась представить партнерский персонал для программы учебно-консультативного сопровождения в районе Хамадони. Количество партнерского персонала будет уточнено сторонами в июле 2009 года.

Японской стороной разъяснено, что ими будут оплачены расходы по командировке японских специалистов и их деятельности по учебно-консультативному сопровождению.

Таджикской стороной разъяснено, что необходимые организационные мероприятия для учебно-консультативного сопровождения будет выполняться Таджикской стороной согласно положений и нормативов Республики Таджикистан.

5-14) Монтаж вентилей на трубах в домах и просвещение населения

Таджикской стороной будет выполнен монтаж 1575 вентилей на трубах в домах поселка «Москва» до завершения строительства объектов водоснабжения Японской стороной.

Таджикская сторона также обязалась организовать просвещение населения для экономного водопользования после проведения программы учебно-консультативного сопровождения Японскими консультантами.

5-15) Экспертиза проектной документации

Таджикской стороной разъяснено, что строительно-монтажная проектная документация подлежит экспертизе со стороны заинтересованных республиканских организаций, и Японской стороне необходимо представить соответствующие документы для их рассмотрения. Экспертиза документации будет завершена по возможности в кратчайшие сроки.

5-16) Рабочий язык для тендерных документов

Японской стороной разъяснено, что тендерные документы должны быть подготовлены на английском языке, чтобы японские подрядчики правильно поняли содержание тендерных документов и могли участвовать в тендере.

Таджикская сторона согласилась на это и обратилась с просьбой к Японской стороне, чтобы переводить тендерные документы на русский язык и передовать их Центру до проведения тендера.

5-17) Оценка воздействия на окружающую среду (ОВОС)

Таджикской стороной разъяснено, что данный Проект не относится к объектам первой категории, подлежащие процедуре ОВОС, и Японской стороне представлена копия письма Службы Государственного контроля за использованием и охраной природы Республики Таджикистан о поддержке данного Проекта и содействии в его реализации.

З. М.

Приложение-1: Предварительный подсчет стоимости Проекта

Предварительный подсчет общей стоимости Проекта: примерно 1 029,2 млн. Я/иен (примерно 8, 495 млн. долларов США)

в т. ч.

А) Затраты на Проект долевой части Правительства Японии

(млн. Я/иен)

Виды работы		**Предварительный подсчет стоимости Проекта**	
Объекты водоснабжения	**Бурение скважин, монтаж насосов, устройство хлорирования, монтаж напорных резервуаров(новые и обновл.), будка управления, будка хлорирования, прокладка трубопроводов, монтаж электрооборудования (новые и обновл.)**	**598,2**	**878,4**
Оборудование	**Оборудование для бурения скважин, оборудование для технического обслуживания трубопроводов**	**280,2**	
Рабочий проекты, надзор за строительством, техническое обучение			**127,4**
Итого			**1 005,8 (8,302 млн. долларов США)**

Б) Предварительный подсчет затрат на Проект части вклада Правительства Республики Таджикистан (подготовлен Японской стороной)

	(сомони)
Ограждение заборами территории объектов	129 300
Ввод ЛЭП до объекта Кенджа Абдул и получение разрешения на увеличение мощности потребления электроэнергии водозаборов	47 200
Обеспечение базы для парковки и технического обслуживания бурового оборудования и техники	247 000
Монтаж подключения водопроводных труб до домов водопользователей с установкой вентилей на трубах	210 000
Устранение утечек на существующих трубопроводах	2 000
Оплата комиссионных расходов Японскому банку за банковские услуги	29 000
Итого	664 500
	(0,193 млн. долларов США)

Примечание:

Таджикской стороной разъяснено:

-вышеупомянутые затраты и работы будут дополнительно пересчитаны Таджикской стороной;

-содержание Центра управления Проекта, расходы на экспертизу проектных работ, получение лицензий (также для Японских подрядчиков), экологические затраты и налоги землепользования, выделение средств на строительство объектов водоснабжения в джамоатах района Хамадонии и бюджетное выделение Водоканалу для эксплуатации и технического обслуживания объектов водоснабжения поселка «Москва» и поселков «Гулобод» и «Навобод» джамоата «Мехнатобод» в 2011–2015 гг. будут осуществляться за счет вклада Правительства Республики Таджикистан.

З.М.

А-77

Приложение-2: План Таджикской стороны для строительства объектов водоснабжения в джамоатах района Хамадони

Джамоаты	Период строительства, разведочное бурение и бурение скважин, реабилитация объектов водоснабжения и водозаборных скважин					
	2011	**2012**	**2013**	**2014**	**2015**	**2011 - 2015**
"Кахрамон"	**3**	**-**	**-**	**-**	**-**	**3**
"Мехнатобод"	**1**	**-**	**-**	**-**	**-**	**1**
"Дашти Гуло"	**-**	**3**	**-**	**-**	**-**	**3**
Им. Калинина	**-**	**-**	**-**	**3**	**-**	**3**
Им. Турдиева	**-**	**-**	**3**	**-**	**-**	**3**
"Панджоб"	**-**	**-**	**1**	**-**	**-**	**1**
"Чубек"	**-**	**1**	**-**	**1**	**4**	**6**
Итого:	**4**	**4**	**4**	**4**	**4**	**20**

З. М.

А-78

Приложение-3: Бюджетное выделение на строительство объектов водоснабжения в джамоатах района Хамадони

(Предварительный)

(тысяча сомони)

Компоненты предполагаемых работ	Период строительства Проекта					
	2011	**2012**	**2013**	**2014**	**2015**	**2011 - 2015**
Строительство, разведочное бурение и бурение скважин, реабилитация объектов водоснабжения и водозаборных скважин	**334,0**	**334,0**	**334,0**	**334,0**	**334,0**	**1 670,0**

З.М.

А-79

Приложение-4: Бюджетное выделение Водоканалу для эксплуатации и технического обслуживания объектов водоснабжения поселка «Москва» и поселков «Навобод» и «Гулобод» джамоата «Мехнатобод»

(Предварительный) (тысяча сомони)

Компонент	Годы					
	2011	**2012**	**2013**	**2014**	**2015**	**2011 - 2015**
Субсидии для эксплуатации и технического обслуживания объектов водоснабжения	**31,9**	**18,7**	**18,7**	**5,6**	**5,6**	**80,5**

З.М.

А-80